藤井諒著

滿洲に於ける支那銀行の概要

滿鐵調查課

凡例

一、支那新式銀行にして滿洲に其本支店を有するものゝ大略を明かにせんとの目的を以て本稿を起せるものである。而して支那銀行の發達、業務の內容等につきては更に他日の研究に讓る。

二、本調査に當りては各地方事務所各公所等より其資料を仰いだ、玆に感謝の意を表す。

三、擔當者　藤井諒

昭和四年十二月

庶務部調査課

滿洲に於ける支那銀行の概要　目次

滿洲に於ける支那銀行の概要

第一章　緒　言

支那新式銀行の發達は比較的新しく銀行通行則例大淸銀行則例等銀行法規の制定發布されたるは光緒三十四年(明治四十一年)一月十六日のことにして今より二十二年以前のことである。中國銀行交通銀行等は其以前に設立せられ、後改組されたものである。

滿洲に於ては、各官銀號はいづれも光緒の末葉より宣統のはじめに於て設立せられ、後屢々其組織を變更して今日に至つた。又舊式金融機關たる銀號又は錢舖より新式銀行に改組されたるものは其數甚た少く僅かに二、三を算するのみである。民國十年以後に於ては新式銀行の設立せらるゝもの漸く多く特に最近二、三年は其新設盛んにして寧ろ濫設の傾向さへある。然しこは遼寧及び哈爾濱に於けることにして其他の地方にありては未だ甚だ幼稚なる狀態である。

新式銀行として設立せられたるものは其形態大體に於て他の文明國に於ける銀行と大差なきも、滿洲の三官銀號をはじめ舊式のものより改組せられたるものは銀行業務以外の附屬營業に主力を注ぎ、嚴格なる意味に於て銀行と稱し難き點が多々ある。

而して東三省、永衡、黑龍江の各官銀號の最も主要なる業務の一は紙幣の發行である。而も其發行は一般經濟界の必要に因りて爲さるゝよりも寧ろ省政府の財政窮乏を救はんがために、財界に及ぼす影響の如何を顧慮することなく濫發に濫發を重ね、ために自から金融紊亂の因を作りつゝある狀態である。卽ち之等各官銀號は權力者の野心によりて自由に左右せられ、省中央銀行として何等の權威を有しない。遼寧に在る邊業銀行は之と全く同一の狀態に在るが、其他の一般銀行も官憲或は有力者の關係せるものゝみは其後援によりて相當の成績を擧げつゝあるが、然らざるものは其業績甚だ振はない。

而して一般に貸付に對しては甚だ高利にして且つ特殊關係のものに對して爲され、一般商民が之を利用することは甚だ困難である。又預金も特殊のもののみに限られ一般には極めて少く、最も盛んに取扱はるゝものは爲替業務である。東三省官銀號の地方に於ける各支店のごときは單なる爲替取扱所に過ぎない狀態である。然るに舊式金融機關たる錢舖につきて之をみるに、其組織は依然として舊態を脫せず、紙幣の發行權は之を有せざるも、貸付預金爲替等共に之を取扱ひ、其信用は新式銀行に敢て劣るところなきもの多々あるが故に、一般には新式銀行の出現を俟たずとも何等の不便を感せざる狀態である。

以下各地方別に之を列記するが舊式機關は之を除外することとし、單に或地に限り隨時附記するに止むる。又支店或は出張所と稱するも單に商家の一室に於て或時期に限り業務を行ふにすぎざるものもあるが之等は其支店又は出張所たることを表示する招牌を揭けたるものは之を列擧することゝしたが、たとへ其行員が駐在するも何等の表

示なきものは之を除くことゝした。

儲蓄會は其實質殆んど銀行と同じく庶民金融機關として重要なるものであるから著名なるものに限り之を附記した。

今滿洲に於ける支那銀行の全體の數を各地方別に表示すれば、次のごとくである。

地方別	本店	支店 本店所在地 省內（州內）	支店 本店所在地 滿洲內他省（州外滿洲內）	支店 本店所在地 滿洲外	支店 合計	儲蓄會 本會	儲蓄會 分會
關東州	—	—	—	四	四	—	—
遼寧省	一三	二三	—	一二	三五	一一	二
吉林省	五	七	一三	八	二八	六	三
黑龍江省	二	六	八	五	一九	二	一
合計	二一	三六	二一	二八	八五	一九	六

備考　鐵道沿線主要地に於けるもののみにして其他地方に於けるものは之を除く。

第二章　關東州

關東州內に於ける支那銀行は次のことくである。

地方別	本店	支店 本店所在地 州內	支店 本店所在地 州外滿洲內	支店 本店所在地 滿洲外	支店 合計	儲蓄會 本會	儲蓄會 分會
大連	―	―	―	四	四	―	―
其他	―	―	―	―	―	―	―
合計	―	―	―	四	四	―	―

第一節　大連

大連に於ける支那銀行は大正二年九月一日中國銀行支店が開設せられたるをはじめとし、以後東萊、交通、金城の各銀行支店が設立せられた。されどいづれも支店にして當地に本店を有するものはない。又此外に東三省官銀號、永衡官銀號、黑龍江廣信公司、遼寧商業銀行、滙華銀行等は大連に其取扱店を有してゐるが支店或は出張所として我官廳の認可を得て營業してゐるものはない。

錢舖は古くより上海或は奥地との間に盛んに取引を行ひ相當成績を收めてゐるものが少くない。

大連に於ける四支店は其本店はいづれも滿洲外にあり遼寧其他滿洲内に本店を有する銀行は未だ之をみない。

(一) 中國銀行大連支店

所在地 大連市山縣通一番地

本店所在地 上海

支店所在地 (東三省内)遼寧、哈爾濱

設立 大正二年九月一日

沿革 光緒三十年(明治三十七年)一月資本金庫平四、〇〇〇、〇〇〇兩を以て戸部銀行設立せられ、光緒三十四年其章程を改め一〇、〇〇〇、〇〇〇元に增資し同時に大淸銀行と改稱せられた。而して民國二年更に現名に改めらる。

設立當時は其株式は全部北京政府の所有するところであつたが其後政府は同行より借款せるも財政窮乏のため之が決濟不可能なりしため其支拂方法として該株劵の一部を民間に拂下けたものである。

本店の貸借對照表 昭和二年度に於けるもの次のことし(現洋勘定)

資産の部

未拂込株金	四〇、二三九、八〇〇・〇〇元

定期貸付	八一、五七〇、四一九・九〇元
內譯	
官廳貸付	三七、五一〇、〇五五・三六元
同業貸付	四二六、四四四・四三
其他貸付	四三、六三三、九二二・一一
當座貸付	二三一、〇七九、二〇六・八六
內譯	
官廳貸付	五五、三六〇、三三七・四七
同業貸付	三〇、四五三、八九三・四四
其他貸付	一四五、二六四、九七五・九五
有價證券	二九、九七一、七六六・九七
營業用家屋器具	四、九五四、二〇六・五二
兌換券製造費	二、一七三、六八〇・九九
兌換券準備金	一五九、〇〇一、一〇二・一六

內譯

現金準備	九七、七六七、五五二・四〇元
現行兌換券項下	九一、八三九、九二〇・二五
停止兌換券項下	五、九二七、六三二・一五
保證準備	六一、二三三、五四九・七六
現行兌換券項下	五〇、三七八、九九九・〇二
停止兌換券項下	一〇、八五四、五五〇・七四
在庫現金	一七、一四一、六四六・八二
本年純損	一、五六八、四一一・七五
合計	五六七、七〇〇、二四一・九七

負債の部

株金總額	六〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
積立金	六、一七七、三二三・五七
滯貸準備金	一、二五一、〇〇〇・〇一
定期預金	四九、三〇四、一三四・八七
當座預金	二八一、一九二、八一三・七二

爲替金	一〇、七七三、八六七・六四元
發行兌換券	一五九、〇〇一、一〇二・一六
現行兌換券	一四二、二一八、九一九・二七
停止兌換券	一六、七八二、一八二・八九
合計	五六七、七〇〇、二四一・九七

又同年度に於ける損益表は次のことくである。

損失の部

各項支出	四、三九九、九〇四・四〇
內譯	
諸給料	一、八六三、六八一・六六
營業費	一、二一三、〇七三・三五
雜費	六七四、八六九・〇五
金庫費	六四八、二八〇・三四
有價證券損失	四、六二七、一三四・四六
各項減價償却金	六一七、八七七・七九

合　計	九、六四四、九一六・六五元

利益の部

利　息	五、五八四、一二二・八一
爲替兌換利益	二、三五五、六九三・二六
雜　益	一三六、六八八・八三
本年純損	一、五六八、四一一・七五
合　計	九、六四四、九一六・六五

資本金　現洋六〇、〇〇〇、〇〇〇元　六〇〇、〇〇〇株に分ち中　三〇〇、〇〇〇株は政府の所有に係る。
大連支店は現洋二、〇〇〇、〇〇〇元位を資本として活動してゐる。

役員

總　裁　金還
副總裁　張嘉璈
董　事　施肇曾、敏王克、林葆恒、李士偉、周學熙、潘履園、熊希齢、虞和德、黄埜
監　事　盧學專、陳輝德、李宣威、章宋元、王源瀚
大連支店代表者　韓振華

營業科目 一般銀行業務

營業狀態 昭和四年六月末に於ける大連支店の預金及貸出は次のことくである。(現大洋勘定)

預金		貸出金	
定期	七二九、七四九元	貸付金	二八九、九三五元
當座	二、〇六六、六八〇元	當座貸越	一、四三七、六八六元
特別當座	三〇五、九八三元	合計	一、七二七、六二一元
合計	三、一〇二、四一二元		

(二) 交通銀行大連支店

所在地 大連市山縣通百四十五番地

本店所在地 上海

支店所在地 (東三省內)遼寧、哈爾濱

設立 昭和二年六月

沿革 支那交通系要人により黨勢擴張のため鐵道郵便電信等の振興を計るを名として光緒三十四年(明治四十一年)北平に創立せられた。當時資本金庫平 五、〇〇〇、〇〇〇兩にして 一株一〇〇兩。五〇、〇〇〇株を官四民六の割合によりて引受けられた。 後資本金一〇、〇〇〇、〇〇〇萬兩に増加し中國

銀行に對抗して活躍したが紙幣濫發のため甚だしき窮地に陷つた。民國五年更に陣容を改めて信用恢復につとめ漸次其所期の目的を達するに至り現在にては中國銀行に亞くの信用を博するに至つた。而して大連支店は曾て大正七年六月開設せられたが業績不振のため大正九年一旦閉鎖し更に昭和二年六月之を再開した。

本店の貸借對照表　昭和三年十二月末に於けるもの次のことし(現洋勘定)

資産の部

未拂込株金	一、二八四、八五〇・〇〇元
定期貸付	六、二六二、〇八二・九六
擔保貸付	一七、二一〇、三八三・四二
割引貸付	五九九、六五五・〇〇
當座貸付	二九、六九三、六〇三・五四
政府預金	六五、九七一、四八八・五六
兌換劵製造費	九一九、四二五・八九
買入爲替手形	八四一、五三九・三八
家屋收入	一、九六四、九八九・五七

沒收擔保物件	一、四八一、四二六・八四元
有價證券	八、五六一、七〇四・一一
發行紙幣準備金	六八、〇二六、一一三・八八
現金及他銀行預金	三三、八六二、三二七・〇四
合計	二三六、六七九、五九〇・一九
負債の部	
資本總額	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇元
積立金	二、〇四四、九五四・一八
貸倒準備	三、三三九、六三一・五九
前年度繰越金	二五三、六七五・二七
定期預金	二五、五五〇、八五六・四七
當座預金	一〇三、四〇九、一〇二・五三
發行紙幣	六八、〇二六、一一三・八八
支拂手形	八七三、一七五・五八
借入金	二一、〇六〇、〇〇〇・〇〇

爲替手形勘定	一、四九三、〇七二・三六元
未拂配當金	五一、三一三・四七
本期利益金	五七七、六九四・八六
合計	二一三六、六七九、五九〇・一九

又同年末に於ける損益表は次の如くである。

損失の部

各種支出	二、三三六、三五五・九六元
各種償却金	四七九、二八八・一八
貸倒	一二六、三四九・五九
有價證券損失	二七二、八三九・六五
雜損	一五四、一四二・二八
純益	五七七、六九四・八六
合計	三、九四六、六七〇・五二

利益の部

利子	三、四一九、一四一・七一元

	元
爲替料	二三二、二七三・六四
手數料	七〇、四七四・一一
兌換利益	二二四、七八一・〇六
合計	三、九四六、六七〇・五二

役員

董事長　盧學溥

總經理　胡祖同

常務董事　顧立仁、李承翼、錢永銘

董事　徐陳冕、唐壽民、王承組、陳輝德、李銘、周作民、談荔蓀、楊德森、陳福頤、張嘉璈

常駐監察人　許修直

監察人　于寶軒、梁定薊、葉崇勛、賈士毅

大連支店支配人　錢家駒

營業科目　一般銀行業務

營業狀態　昭和四年六月末に於ける大連支店の預金及び貸出は次のことくである。（現大洋勘定）

預金　　貸出金

定期	五六五、五九五元	貸付金	三二七、三六五元
當座	二三四、五一五元	當座貸越	三七〇、七六六元
特別當座	七七、九七一元	合計	六九八、一三一元
諸預金	四六、一〇五元		
合計	九二四、一八六元		

（三）金城銀行大連支店

所在地　大連市山縣通一一七番地

本店所在地　天津

支店所在地　北平、上海、漢口

設立　昭和二年十一月（本店民國六年九月）

本店の貸借對照表　昭和三年度に於けるもの次のごとくである。（現大洋勘定）

資産の部

未拂込株金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇元
各種定期貸付	一五、〇七八、八三二・一八
各種當座貸付	一七、〇九九、〇四三・五九

	元
營業用土地建物	二、四三五、九八七・八一
營業用什器	八〇、八九〇・二一
四行儲蓄會基本貯金	二五〇、〇〇〇・〇〇
四行準備庫立替金	一四〇、〇〇〇・〇〇
有價證券	八、〇〇七、二三七・一五
未收利息	一、二三七、八五四・六六
開業費	二〇、四六四・一七
儲蓄部基金	一〇、〇〇〇・〇〇
儲蓄部定期擔保貸付	一、一二五、〇一五・一四
儲蓄部當座擔保貸付	三九二、二五二・八九
儲蓄部有價證券	二、五二一、五八〇・〇二
本行及儲蓄部準備金	
他銀行預金	一五、三一九、六七八・七九
現金	八、一二〇、五四二・〇五
合計	七四、九二九、三七八・六七

負債の部

資本總額	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇元
各種積立金	一、八九〇、〇〇〇・〇〇
繰越金	二、二八四・三一
定期預金	二六、三〇六、〇七八・八三
各種當座預金	二七、一七六、三七七・〇一
行員貯金	八、二一九・七一
一時預金	一二一、二五三・五一
未拂利息	一、〇五三、四七九・三二
儲蓄部定期預金	五、三五九、三九二・五九
儲蓄部當座預金	二、〇〇三、四九六・二五
本年純益	一、〇〇八、七九七・一四
合計	七四、九二九、三七八・六七

同年末に於ける損益表は次のことくである。

利益の部　　　　損失の部

利子	一、一九四、一七五・七六元	雜損	四二、〇一三・五三元
爲替並兌換料	一〇四、一五一・二二	各種償却金	八四、一八二・三七
手數料	一〇、七一九・一〇	諸經費	五〇五、一一七・一四
有價證券益	三二九、〇五〇・九八	純益	一、〇〇八、七九七・一四
保管費	二、〇一三・九〇	合計	一、六四〇、一一〇・九六
合計	一、六四〇、一一〇・九六		

役員

董事長 朱寶仁

董事 倪道述、段永彬、吳鼎昌、任鳳苞、王寶鑫、魏聯芳

監査人 胡筠、陳國棟、曲卓新

大連支店代表者 楊允楫

營業科目 一般銀行業務

營業狀態 昭和四年六月末に於ける大連支店の預金及び貸出は次のことくである。（現大洋勘定）

預金		貸出金	
定期	二、三〇二、四八四元	貸付金	四八九、一一六元

當座	五〇九、二一三元	當座貸越	三七七、八五〇元
諸預金	一、〇〇〇元	割引手形	二一、四二八元
合計	二、八一二、六九七元	合計	八八八、三九四元

（四）東萊銀行大連支店

所在地　大連市監部通五〇番地

本店所在地　天津

支店所在地　上海、濟南、青島

設立　大正十年三月（本店民國七年七月）

沿革　最初青島の有力者劉子山氏等により資本銀二〇〇、〇〇〇元を以て合資會社として設立せられた。以後順調に發展し民國十二年十二月銀三、〇〇〇、〇〇〇元の株式會社に改組した。大連支店は大正九年末設立の認可を得翌年業務を開始せるものである。

資本金　現洋三、〇〇〇、〇〇〇元

役員

董事　成蘭圃、呂月塘、劉文山、吳蔚如、于耀西、劉西山

董事兼總經理　劉子山

監察人　劉星山、顔矩亭

大連支店代表者　李銘臣

營業科目　一般銀行業務

營業狀態　昭和四年六月末に於ける大連支店の預金及貸出は次のことくである。

金勘定

預金		貸出金	
定期	三、〇〇〇円	貸付金	一五六、二九〇円
當座	二〇、七七三	當座貸越	八〇、〇四二
特別當座	五、四四四	合計	二三六、三三二
諸預金	六四八		
合計	二九、八六五		

銀勘定

預金		貸出金	
定期	六九〇、六六二元	貸付金	五九八、六五〇元
當座	一八九、一一三	當座貸越	二八九、四六二

特別當座　五〇、五一三元　合計　八八八、一一二元
諸預金　二六、七一九
合計　九五七、八〇七

第二節　其他州內

州內に於ては大連以外の各地には支那銀行は一も之なく極めて小規模の兩替屋あるのみ。

第三章　遼寧省

當省內に於ける銀行並に其支店數を表示すれば次のことくである。

地名	本店	支店所在地 省內	支店所在地 滿洲內	支店所在地 滿洲外	支店合計	儲蓄會 本會	儲蓄會 分會
遼寧	一二	一	｜	四	五	四	｜
安東	一	一	｜	一	二	一	｜
營口	｜	二	｜	二	四	｜	｜

瓦房店	｜	一	｜	｜	一	｜	｜
遼陽	｜	一	｜	｜	一	一	｜
鐵嶺	｜	一	｜	｜	一	｜	｜
開原	｜	一	｜	二	三	｜	｜
四平街	｜	二	｜	一	三	｜	｜
郭家店	｜	一	｜	｜	一	｜	｜
公主嶺	｜	一	｜	一	二	｜	｜
范家屯	｜	一	｜	｜	一	｜	｜
撫順	｜	一	｜	｜	一	三	｜
本溪湖	｜	一	｜	｜	一	一	｜
鄭家屯	｜	一	｜	｜	一	｜	｜

洮南	—	一	—	一	二	—	一
新民	—	一	—	—	一	—	—
錦縣	—	一	—	—	一	—	—
海龍	—	一	—	—	一	—	一
北山城子	—	一	—	—	一	—	—
柳河	—	一	—	—	一	一	—
輝南	—	一	—	—	一	—	—
合計	一三	二三	—	一二	三五	一一	二

第一節　遼寧

遼寧は古來當省内に於ける政治經濟の中心地にして各種金融機關も從つて發達し錢舖のごときも相當大資本を擁し活躍をなすものがある。而して光緒三十三年（明治四〇年）二月大清銀行が支店を設置しはじめて銀行の名稱を

用ひたが當時は未だ依るべき銀行法規なく其組織舊式にして一般錢號と大差なきものであつた。民國二年大清銀行が中國銀行と改稱し同時に銀行通行則例による新式銀行に改組してより漸次他の各銀號錢號も之に倣つて改組するものあり、民國十年以後に在りては新式銀行の創設せらるゝもの續出するに至つた。

滿鐵附屬地に於て我官憲認可のもとに營業をなしつゝあるものは現在東三省官銀號分號のみであるが他に進出を計劃中にあるもの二三ある。其他はいづれも城內或は商埠地にある。

一　（本　店）

（一）　東三省官銀號

所　在　地　遼寧省城大北門裡

分號所在地　東三省內各主要地及上海、天津、北平

設　　　立　明治三十八年（光緒三十一年）十二月

沿　　　革　當時の奉天將軍趙爾巽が幣制統一の目的を以て奉天官銀號を創設し、その資本金瀋平銀三〇〇、〇〇〇兩は度支部の出資であつた。宣統元年（明治四十二年）徐世昌が東三省總督となるに及び同號をして東三省の中央銀行たらしめんとして名稱を現名に改め同時に資本金を六〇〇、〇〇〇兩に增加し且つ純然たる官立銀行とした。其後資本金を現大洋一、〇〇〇、〇〇〇元に改め、更に民國十三年に至り紙幣濫發の結果營業不振に陷りたる奉天興業銀行及東三省銀行を合併し資本金を奉大洋二〇、〇〇〇、〇〇〇元に改めた。

東三省銀行は民國九年幣制の確立を目的として哈爾濱に設立せられたるもの、又奉天興業銀行は民國三年設立せられ農業銀行を合併して成れる官民合辦の株式會社であつた。

役　員

總　辦　魯穆庭

會　辦　張振鷺　韓麟生　吳恩培

總經理　單有珍

副經理　劉德文　孫耀宗　王元澂

資本金　奉大洋二〇、〇〇〇、〇〇〇元

營業科目　(一)省內外の爲替業（二）地金銀及各種貨幣の賣買（三）紙幣の發行（四）各種貸出（五）各種預金（六）倉庫金融（七）約束手形、爲替手形の割引（八）證券書類及其他一切貴重品の保管

營業狀態　同號の資產營業の狀態につきては信賴すべき資料なくいづれも暗中模索のやむなき狀態である。然しながら最近同號が財政廳の命によりなせる報告は次のごとくである。

民國十八年一月第一號日計表（奉天經濟旬報第六卷第六號による）（奉小洋勘定）

資產		負債	
未拂込資本	五、八二〇、九四九・〇〇	資本總額	二〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
定期貸付	五三、六〇三、三一〇・三二	公積金	四、五八五、八三九・八〇
定期擔保付貸付	二〇、〇二〇、八一二・六八	貸倒準備金	一二、一九二、一七八・三一
當座貸越	一〇四、七六五、一七五・三四	官資利息	八五〇、七四三・〇六
擔保付貸付	二四一、三六三・三五	公益補助金（學校其他公益事業）	五八八、〇〇〇・〇〇
各同業貸付	一六七、一二三、九一二・五二	定期預金	一六、二六一、六一八・六四
糧棧貸付	二八、六四九、四三八・八七	當座預金	一一五、九四四、〇八九・九九
割引料	九五、一五〇・〇〇	特別當座預金	一〇八、一四六、五三九・七七
荷爲替	一五、五〇五・〇〇	各官衙預金	三四九、八六二、五四〇・八四
官衙貸付	一、四四八、一四八、八五七・一一	假受金	三二一、四六八、二五二・三九
假拂金	五五、七七一、四五〇・七七	仕拂手形	四、六六二、〇六二・五〇
期限滿了貸付	八、九八八、二〇九・〇六	預證券	一九、四六一、七〇五・七一
沒收擔保	二〇、一五三、一四七・六〇	各同業借入金	五一、三六九、三〇八・九三
本支店勘定	二、九六四、九七四・六五	爲替支拂引當	一三、五四九、九五〇・二五
託收款項	一、五六三、二四一・〇五	哈大洋發行	一三一、五〇四、八五八・一〇
期收款項	八〇六、八六九・五五	奉天票發行	一、二五二、二六六、三六四・七九

有價證券	七、〇一七、七二九・八七
受取手形	五、六一二、五〇〇・〇〇
滙兌券製造費	三五、九九九、二九三・七六
哈大洋發行準備金	一六四、三八〇、〇七二・六二
土地家屋	二〇、三〇七、四五八・七七
附屬營業資本金	一七、四三七、五〇〇・〇〇
附屬營業勘定	二四九、四七四、一三四・九三
營業什器	八八二、九四九・六四
押租敷金	一五三、四五五・七〇
現金	一〇八、八七〇、九六〇・八三
資產總計	二、五二八、八六七、〇二二・四九
官衙委託金	六一八、七二〇・八一
債券利息支拂引當	七〇、九三三・六九
借入金	二九、一六六、六六六・六七
當期利益金	七六、三〇六、四四八・二四
負債總計	二、五二八、八六七、〇二二・四九

註、此合計は實際の合計と符合せず、されど合計に誤謬ありや勘定科目金額に誤記ありや不明につき原文のままとす。

負債の部誤算　＋　九、八〇〇・〇〇資產の部誤算　＋　一、四〇〇・五〇なり、尚仕拂手形金額は原文の位取間違ありしを以て訂正せり。尚貸借の體裁を多少變更せり。

損益表

利益の部		損失の部	
爲替料	一、七一六・九七	利息	二五、六二四、四六七・六七
有價證券損益	二五八、五四八・六七	手續費	五九、六八三・七九
上期損益繰越	一、四一三、一〇九・八二	兌換損益	一九、九二七、二六〇・八九
各分號損益	二一、四六三、五六九・七二	營業什器償却	九八、一〇五・四六
附屬營業損益	二〇三、三三八、六三四・五七	兌換券製造費償却	一一、九九九、七六四・五九
擔保沒收損益	一、一〇六、〇七二・七八	土地家屋償却	二、二二〇、二七三・二〇
雜損益	一三四、九七三、五四	各種營業支出	一五、四一七、五一七・三六
		回收不能	八三、二四四・三三
		現洋鑄造損益	二、七五九、八六〇・二七
		各種支拂引當	七三、二二〇、〇〇〇・〇〇
		當期利益	七六、三〇六、四四八・二四
合計	二二七、七一六、六二六・〇七	合計	二二七、七一六、六二六・〇七

註、原文と多少體裁を變更せり

（二）邊業銀行

所在地　遼寧省城大南門裡

支店所在地　哈爾濱、長春、營口、開原、四平街、吉林、黒龍江、雙城、綏化、黒河、安達、天津

設立　大正十四年六月

沿革　奉天派の關内進出に伴ひ民國十四年六月同派の關内に於ける機關銀行として天津に設立せられた。資本金現洋五、二〇〇、〇〇〇元の中五、〇〇〇、〇〇元は張學良の出資に係り、吳俊陞、闞朝璽各一〇〇、〇〇〇元を出資せりと云はれてゐる。民國十七年四月奉軍の關外に徹退するに及び本店を奉天に移し資本金を二〇、〇〇〇、〇〇〇元に增加し、官憲との特殊の關係を利用して各方面に活躍を行ひ最近に於ては東三省官銀號の業務をも蚕食しつゝある。

役員
　總裁　彭賢
　副總裁　杜惠霖

資本金　現洋二〇、〇〇〇、〇〇〇元

營業科目　(一)現大洋紙幣發行(二)國庫事務取扱(三)各種預金及貸出(四)爲替(五)兌換其他一般銀行業務

營業狀態　昭和三年末（現大洋勘定）
　貸出總額　三、三二〇、〇〇〇元

預金總額	一、〇三〇、〇〇〇元
積立金	八六〇、〇〇〇元
純利益	六六〇、〇〇〇元

（三）公濟平市錢號

所在地　遼寧省城督軍署胡同

設立　大正八年一月

沿革　光緒二十七年（明治三十四年）奉天財政廳の下に瀋平銀一〇〇、〇〇〇兩の資本金を以て公義商局が設立せられ、一般錢業を營みたるも全然失敗に歸したるを以て光緒三十三年（明治四十年）之を官銀號の經營に移し公濟錢號と改稱し且つ官銀號より小洋二〇〇、〇〇〇元を出資して兌換爲替業務を取扱つた。民國三年露國紙幣の賣買により大損失を蒙り官銀號より更に小洋五〇〇、〇〇〇元を出資して營業を繼續したが遂に自立不可能となり民國六年官銀號に合併せられた。民國八年正月再ひ改組獨立し現名に改め資本金奉小洋三、〇〇〇、〇〇〇元としたものである。

役員
　經理　趙公田

資本金　奉小洋三、〇〇〇、〇〇〇元

營業科目　(一)銅元票の發行(二)各種預金(三)各種貸付

營業狀態　昭和三年末

貸出	現大洋	二、五五〇、〇〇〇元	奉大洋	二一、五一〇、〇〇〇元
預金	同	六三四、〇〇〇	同	二三、六三〇、〇〇〇
積立金	同	二、二〇〇、〇〇〇		—
純利益	同	—		五五、〇五〇、〇〇〇
銅元票發行高		—	奉小洋	七六、五〇〇、〇〇〇

(四)　遼寧滙華銀行

所在地　遼寧省城大西門裡

支店所在地　哈爾濱、上海、天津

設立　昭和元年八月

沿革　民國十五年八月資本金奉大洋三、〇〇〇、〇〇〇元を以て開設されたる株式會社にして主なる株主は張惠霖李夢康彭相亭等である。其後奉票暴落のため貸出を手控へ且つ資本金を現大洋一、〇〇〇、〇〇〇元に改め拂込を六二九、二五二元とした。翌十六年には開原に糧棧を開きて特產界に活躍し又十七年には哈大洋三〇〇、〇〇〇元を以て製粉工場を買收して銀行業務以外にも發展を試みた。

役員

監理 王衡文、董九齡

總理 于春塘

協理 劉錦堂、張齊賢

監察人 吳永昌、穆繼多、彭長庚、方煌恩

資本金 現洋一、〇〇〇、〇〇〇元

營業科目 各種預金、各種貸出、爲替、兩替、特產賣買、製粉

營業狀態 昭和二年六月末（現洋勘定）

資産の部		負債の部	
未拂込資金	三七〇、七四八・〇〇	資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
定期貸付	四四九、〇一八・三三	法定積立金	一五、〇〇〇・〇〇
定期擔保貸付	三七二、五〇九・〇〇	未拂配當金	三四一・〇〇
當座貸越	一四六、五三二・一五	未拂行員奬勵金	六七・三八
受取手形	一八一、八〇〇・〇〇	定期預金	四八、五二八・二二
家賃	三六七・一〇	當座預金	六一五、三二五・九二

假出金	二二七、二五二•六八
所有財産利益	六四、八四九•七五
他店貸	七九一•三五
本支店勘定	八六六、六九七•五五
兌換	一五八、二八〇•一二
附屬營業資本	一〇〇、〇〇〇•〇〇
貸付	二二二、三七〇•〇〇
現金	八五、九六四•〇八
合計	三、二四七、一八〇、一一
特別當座預金	七八九、二四七•一七
支拂手形	四九、六一七•三九
行員儲蓄金	六、五二九•一四
雜預金	一六八、六〇六•九九
借入金	二二四、〇〇〇•〇〇
他店借	四、二六一•一五
本期純益	三二五、六五五•七五
合計	三、二四七、一八〇•一一

損益表

利益	利息	二三五、七四〇•六八
	兌換	六三、八八八•〇四
	雜益	三
	附屬營業利益	八五、三六九•九四
損失	爲替料	九三•四五
	手數料	一二〇•二五
	營業什器償却	六二一•五八
	各種支出	五八、五〇七•六六
	本期純益	三二五、六五五•七五

合計	三八四、九九八・六九	合計	三八四、九九八・六九

純益金處分案

法定積立金	三二、〇〇〇・〇〇
株主配當(年三割四分)	二〇五、三五五・一七
全體職員賞與金	八七、九二七・〇五
後期繰越	三七三・五三
合計	三二五、六五五・七五

備考 最近資本金 三、〇〇〇・〇〇〇元に改む

(五) 遼寧商業銀行

所在地 遼寧省城大西門裡

支店所在地 哈爾濱、長春

設立 大正三年五月

沿革 奉天商務総會の發起により創立せらる。資本金は最初奉小洋一、〇〇〇、〇〇〇元株式組織の計劃なりしも株式の引受者少く、其十分の一卽ち一〇〇、〇〇〇元を以て業務を開始した。後資本金を改

め公稱資本奉小洋二、〇〇〇、〇〇〇元拂込一、七五〇、〇〇〇元とした。

其後奉票の暴落に會し民國十七年六月再び公稱資本現大洋一、〇〇〇、〇〇〇元拂込　八七五、〇〇〇元に改めた。現在商務總會の機關銀行として活躍してゐる。本行は開業當時は紙幣の發行權を附與されてゐたが民國八年王永江の財政廳長の際之を停止せられた

役　員

總　理　田維釗

協　理　孫永安

資本金　現洋一、〇〇〇、〇〇〇元　拂　込　八七五、〇〇〇元

營業科目　預金、貸出、爲替

營業狀態　昭和三年七月一日より同四年六月末に至る一ケ年間に於ける同行決算報告（現洋勘定）

資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇元
積立金	七六、三八七・八七
本年度營業利益	六九八、九五六・五五
營業諸經費	九六、三一一・八九
株式責任配當金	四〇、〇〇九・〇六

預金利息支拂	二一四、〇一二・九五
同上支配準備	二〇、〇〇〇・〇〇
總商會報酬支拂（中交兩行當座取引周旋報酬）	一、一七八・五七
不良貸償却準備積立	一五、〇〇〇・〇〇
差引純益金	三一二、四四四・〇八
總商會經費負擔（純益の一〇〇分の三）	九、一〇〇・三一
差引純益金	三〇三、三四三・七七
株主配當金（一〇〇分の六〇）	一八二、〇〇六・二六
積立金（一〇〇分の一〇）	三〇、三三四・三八
職員賞與（一〇〇分の三〇）	九一、〇〇三・一三

（六）東北銀行

所在地　遼寧省城四平街

設立　大正十二年五月

沿革　張作霖、楊宇霆、王明宇、張作相等の出資創立せしものにして最初李俊臣を總理とし相當成績を擧げてゐたが後王明宇自から總理となり經營の任に當る。資本金奉小洋四、〇〇〇、〇〇〇元拂込 三、

四七一、八三〇元であつたが民國十八年（昭和四年）六月總會に於て之を現大洋建に改めた。尙同行は張學良より現大洋五〇〇、〇〇〇元邊業銀行より同五〇、〇〇〇元の借款を有す。

役　員　經　理　王明宇
　　　　協　理　方翔閣、馮竹初

資本金　奉小洋　四、〇〇〇、〇〇〇元（舊）

營業科目　預金、爲替、貸付、實業投資

營業狀態　同行より發表されたる昭和三年五月一日より翌四年四月三十日に至る一ヶ年間の損益計算書は次のことくである（奉小洋勘定）

利益金額	
定期貸金利息	一、〇七〇、一七一・五〇
定期擔保貸金利息	七三一、九六八・五七
擔保貸金利息	一、五六三、三二〇・〇〇
當座貸越利息	二、九五四、一三四・四七
コールローン利息	七、三六七・〇一

有價證券利息	一、四七〇、〇〇〇・〇〇
前期損益金	三四一・七三
株主名義書替手數料	一、〇八八・〇〇
貨幣交換利益	一五四、七五八・八一
雜益	九、四七一・七六
合計	七、九六二、六二一・八五

損失金額

定期預金利息	二七〇、三二四・四二
當座預金利息	四三四、九一七・〇一
特別預金利息	四一、八七八・二〇
官署預金	三一六、二一九・三六
コールマネー利息	四三六、八三七・三二
借入金利息	二一、六〇〇・〇〇
雜損	五、〇〇〇・〇〇
各項經費	一、九八七、三八八・〇四

本期純益金	四、四四八、四五七・五〇
合計	七、九六二、六二一・八五

純益金分配案

總純益金（奉小洋）	四、四四八、四五七・五〇
官息支拂	二〇八、五七五・六〇
差引純益金	四、二三九、八八一・九〇
公積金	四二三、九八八・一九
發起人報酬	四二、三九八・八一
財產償却	七七、四〇〇・八〇
創立費償却	一九六・八六
株式配當	二、五八七、一二八・〇七
職員獎勵金	一、一〇八、七六九・一七

（七）世合公銀行

所在地　遼寧省城大西門裡

支店所在地　遼寧省城鐘樓南、哈爾濱

總　　理　孟藎臣
協　　理　彭　彬
資本金　現大洋　五〇〇、〇〇〇元　拂　込　二〇〇、〇〇〇元
營業科目　預金、貸出（木材擔保）
營業狀態　臨江縣内に於て現洋　八六、〇〇〇元を投じ二十五畝の森林を買收し之を根據地として林業會社を設立せんとせるも總理孟が民國十七年始め特產思惑のために　四〇〇、〇〇〇元の損失を招き經營困難に陷る。

（十）濟東銀行

所在地　遼寧省城小西門裡路北
設　立　昭和三年二月
組　織　王政和、王輔周、張幹臣等の出資に係る合資會社
役　員
　總　經　理　王政和（美孚洋行經理）
資本金　現大洋五、〇〇〇、〇〇〇元（内一、五〇〇、〇〇〇元は美孚洋行の出資）

（十一）黑龍江官銀號分行

所在地　遼寧省城大南門裡

役　員

經　理　單鴻飛

營業科目　貸付、爲替、貨幣の賣買、粮穀の賣買

沿革及近況　黑龍江官銀號は光緒三十四年（明治四十一年）銀三〇〇、〇〇〇兩の資本金を以て齊々哈爾に設立せられ、當時の廣信公司と競爭してゐたが常に敗者の地位におかれ窮境に在つた。故に民國八年二者合併して黑龍江省廣信公司となつた。奉天分行は其合併前即ち宣統元年、（明治四十二年）一、〇〇〇、〇〇〇元の資本金を以て設立され銀票を發行し盛んに活動してゐたが、民國五年奉票の兌換問題起るに及んで奉天官憲のため紙幣發行を停止され爾來漸次營業不振に陷つた。民國十六年度貸出高は僅かに六〇〇、〇〇〇元乃至七〇〇、〇〇〇元に過ぎず。最近現大洋五、〇〇〇、〇〇〇元を投して再び活躍せんとの劃策中にあるものゝことくである。而して現在の廣信公司とは本支店の關係を有せず。

（十二）遼寧民生銀行

所在地　遼寧省城大東門裡

設　立　昭和四年十一月十日

資本金　現大洋一、〇〇〇、〇〇〇元　拂込　二五〇、〇〇〇元
營業科目　貸出預金爲替割引其他一般銀行業務
營業狀態　開業後日淺く業績みるべきものなし
　當座預金利率　月四厘乃至一分
　定期預金利率　月六厘乃至一分二厘

二（支店）

（一）東三省官銀號分號
所在地　奉天千代田通二十八番
本店所在地　遼寧大北門裡
設立　昭和四年二月一日
役員
　經理　姚玉喬
營業科目　一般銀行業務
營業狀態　昭和四年四月末
　貸付金　一八、六七三円・三四　現大洋　三九、三四一元・〇〇

預　　金　金　三四、〇三六・一〇　現大洋二三、四三〇・一五　奉小洋七、六九六、〇九八・〇〇元

當座預金利率　月三厘

定　期　同　月六厘

貸出利率　月一分二厘

（二）中國銀行遼寧支店

所　在　地　遼寧省城大西關裡

本店所在地　上海

支店所在地　大連、哈爾濱

隸屬支店所在地　營口、安東、開原、洮南、公主嶺、通化、臨江

設　　立　明治四十年（光緒三十三年）二月

（大連支店　參照）

役　　員

經　　理　袁大啓

營業科目　預金、貸付、爲替、紙幣發行

營業狀態　昭和三年末（現大洋勘定）

貸出總額　三、六五〇、〇〇〇元
預金總額　一、三四〇、〇〇〇元
純利益　六四〇、〇〇〇元

（三）交通銀行遼寧支店

所在地　遼寧省城小南門裡
本店所在地　上海
支店所在地　大連、哈爾濱
隷屬支店所在地　孫家臺（開原）、四平街、洮南、營口
設立　明治四十三年（宣統二年）四月
（大連支店　參照）
沿革　最初奉天支店の資本金は一、〇〇〇、〇〇〇元にして中五〇〇、〇〇〇元は總行より支給され三〇〇、〇〇〇元は當地に於て積立て二〇〇、〇〇〇元は爲替資金として交通部より交附されたものであつた。
役員
經理　陳藝

副經理　劉俊

營業科目　一般銀行業務並紙幣發行

營業狀態　昭和三年末に於ける貸出預金額次のことし（現洋勘定）

貸付	現大洋	六、八五〇、〇〇〇元	奉大洋	一、二〇〇、〇〇〇元
預金	同	四、三三〇、〇〇〇	同	六五〇、〇〇〇
積立金	同	一、二三〇、〇〇〇		
純益	同	八七〇、〇〇〇		

（四）熱河興業銀行遼寧支店

所在地　遼寧省城大西門外

本店所在地　熱河

沿革及近況

遼寧に於ける同支店は曩に一時閉鎖してるたが民國十七年秋再び臨時派出所を設け同十八年二月更に支店として復活せしめた。北平熱河遼寧間の爲替取扱及一般銀行業務を行ふ。

（五）浙江興業銀行遼寧支店

所在地　遼寧省城大西門裡

本店所在地　上海

沿革及近況

光緒三十三年（明治四十年）資本金一、〇〇〇、〇〇〇元を以て上海に創設せられ遼寧支店は資金三〇〇、〇〇〇元を以て開業し信用貸擔保貸預金爲替地金銀の賣買等を爲す。民國十一年末に於ける預金は現洋三五〇、〇〇〇元、貸出は同三二三、〇〇〇元である。

（備　考）

設立計劃中にあるもの又は開業準備中にあるものは次のことくである。

奉天商埠銀行　商埠地内の富商、孟廣恩、楊子良、桂香五等の發起に係り一株現大洋一〇元、五〇、〇〇〇株卽ち五〇〇、〇〇〇元全額拂込にて開業の豫定

聚峡銀行　張志良、田國鈞、何濂泉、張伯鯤、王衡文等十餘名が邊業銀行遼寧儲蓄會等の後援を得資本金現大洋五〇〇、〇〇〇元の合資を以て設立せんと計劃中

正義銀行　張靜萘、李嘉瑞、謝伯壽等協同し商業儲蓄を目的とし資本金現洋二、五〇〇、〇〇〇元を以て設立せんと計劃中

奉天實業銀行　奉天省議會長張成箕、同副會長谷耀山其他政界財界の有力者三十餘名の發起に係り一株五〇元一〇〇、〇〇〇株五、〇〇〇、〇〇〇元の資本にして一年を二期に分ちて全額を拂込み既に設立認可を得たり。

礦業銀行　礦業の發達を促進するを以て目的とし劉永祥、李登瀛等發起す。資本金現大洋二、〇〇〇、〇〇〇元の豫定

遼寧國民銀行　省議會副會長谷耀山、故張作霖第五夫人壽夫人等發起し資本金を二、四〇〇、〇〇〇元とし四分の一拂込を以て開業し開業の上は紙幣の發行權を得んと劃策中である。

漁業銀行　渤海沿岸に於ける漁業振興を目的とし營口紳商李常民等發起し資本金八〇〇、〇〇〇元を以て設立せんと準備中である。

三（儲蓄會）

（一）遼寧儲蓄會

所在地　遼寧省城軍署街

分會所在地　哈爾濱、撫順、長春、吉林

設立　大正六年四月

役員

名譽會長　張學良

會長　張志良

副會長　張景惠　張作相

總經理　王衡文

副經理　董九齡

沿革　當初資本金奉小洋八、〇〇〇、〇〇〇元株式組織を以て設立し、儲蓄の外預金貸出倉庫業務をも營み又哈爾濱に於ては奉大製粉廠を經營し好成績を收めてゐる。民國十七年六月該資本金を哈大洋二、二五〇、〇〇〇元に改めた。

營業狀態　昭和二年（民國十六年）七月一日より翌年六月末に至る一ヶ年間に於ける營業報告次のことくてある。

（一）哈大洋勘定

資産の部		負債の部	
擔保貸付	一六、〇〇〇・〇〇	資本	二、二五〇、〇〇〇・〇〇
奉大製粉勘定	一、〇四八、二六〇・四七	積立金	五八八、九四七・一九
分會勘定	五〇五、八〇二・四三	定期預金	三二〇、〇〇〇・〇〇
代理處勘定	二五、八七一・一〇	當座預金	六五二・〇九
當座預金貸越	五、八五六・二二	他店借	一八、六三二・八二
他店貸	一二、三〇三・八一	假入金	二五、九九一・〇九

假出金	二一、七〇八・九四
土地家屋	三、二九五、〇四九・六六
附屬營業	五〇〇、〇〇〇・〇〇
營業用什器	三三、八一七・五九
分會出資金	一三〇、〇〇〇・〇〇
擔保沒收	一八、一二〇・〇〇
營業用家屋土地	三〇、〇七七・一六
現金	七、九二八・五二
合計	五、六二三、七三九・二九

奬勵儲蓄部	八一、五一九・九〇
兌換	二、三三七、〇六三・二〇
代理店手數料	九三三・〇〇
合計	五、六二三、七三九・二九

(二) 現大洋勘定

資産の部

擔保貸出	四〇六、二二四・〇〇元
信用貸出	一二三、七七〇・〇〇
分會勘定	四、五一〇・一二
當座預金貸越	八二、八五六・九九
他店貸	四六、三二九・二三

負債の部

定期預金	三五五、五四七・一二元
當座預金	六九一、七八一・八八
他店借	三二三・二九
他店借	一〇一、七一七・八二
各種儲蓄	四二、〇三六・四八

假出金	四二、六七六・四二	借入金	六二〇、〇〇〇・〇〇
兌換	一、三四二、四一七・五〇	支拂手形	四、六一三・九七
有價證券	七一、〇〇〇・〇〇	代理處勘定	二五九・〇〇
現金	一〇七、九三一・二九	奬勵儲蓄部	四一一、四三五・九九
合計	二、二二七、七一五・五五	合計	二、二二七、七一五・五五

(三) 金勘定

資産の部		負債の部	
擔保貸附	三一、八七〇・〇〇	當座預金	二〇八、三九〇・四九
信用貸附	一六、〇〇〇・〇〇	假入金	六、一五〇・三〇
當座預金貸越	二六九、六一七・四四	兌換	一八八、一三九・七四
他店貸	一、三五七・二三	借入金	一一〇、〇〇〇・〇〇
假出金	三五、四六一・六七	支拂手形	一〇、六七五・五〇
現金	二四九、二五五・四九	分會勘定	八〇、二〇五・八〇
合計	六〇三、五六一・八三	合計	六〇三、五六一・八三

(四) 鈔票勘定

資産の部		負債の部	
他店貸	二〇、九〇一・四二	他店借	二五、三六七・二〇
假出金	二二七・一五	假入金	四・〇二
兌換	四、一〇〇・七二		
現金	一四一・九三		
合計	二五、三七一・二二	合計	二五、三七一・二二

（五）黒龍江官帖勘定

資産の部		負債の部	
分會勘定	二二八、四六〇・六三	兌換	二八六、四七二・六三
現金	五八、〇一二・〇〇		
合計	二八六、四七二・六三	合計	二八六、四七二・六三

（六）永衡大洋勘定

資産の部		負債の部	
分會勘定	六三、〇四三・五八	兌換	六三、〇四三・五八

合計	六三、〇四三・五八
合計	六三、〇四三・五八

（七）奉小洋勘定

資産の部	
擔保貸附	九八三、〇三四・五七
信用貸附	七九八、六九〇・〇九
分會勘定	二、三二二、四一四・一五
代理店勘定	一、二六六、五八七・〇九
當座預金貸越	五、〇八七、二〇一・二七
他店貸	一、六七九、四二〇・九七
假出金	三四三、九五三・二八
分會出資金	六三一、〇九三・〇〇
有價證券	二〇、五四〇・九八
兌換	一〇、一六五、〇五八・七七
擔保沒收	二九、三一六・〇二
現金	二、四一二、〇五四・三八

負債の部	
定期預金	一、二一〇、〇二一・〇九
當座預金	四、三五七、三九九・六八
他店借	一〇、二二九、七五六・六〇
假入金	九九六、六九七・八八
各種儲蓄	九八、七八六・四五
支拂手形	一〇四、五六〇・五八
代理店手數料	一三一、九六〇・七二
未拂配當金	四〇四、〇四六・九七
未拂特別配當	七四、二六六・〇九
小口儲蓄	一四〇・九〇
雜收入	一八、八六
借入金	三、四九四、〇〇〇・〇〇
今年純益	四、六三七、七〇八、七五

合計	二五、七三九、三六四•五七	合計	二五、七三九、三六四•五七

奉小洋損益表

損失の部		利益の部	
利子	一〇、七六一、九五一•四六	利息	一〇、四四六、三七四•八五
手數料	三二、五〇五•七四	附屬營業出資配當	八五、〇一五•〇四
分會經費	七七〇、一二五•五〇	家賃	五、六三六、七四八•七〇
各項支出	九三三、六四五•四四	土地賃貸料	三八、八〇二•一〇
配當金	三八八、七五二•〇八	保險料	六〇、六九八•七二
爲替料	二、二五四•七一	手數料	一四二•〇〇
雜損益	五〇七、四六八•一八	沒收擔保損益	四、五六一•二九
今年純益	四、六三七、七〇八•七五	有價證券賣買損益	二五、三四四•〇四
		獎勵金	二三八、二三三•七四
		附屬營業利益	一、四九一、五五九•五二
		前期繰越	六、九三一•八六
合計	一八、〇三四、四一一•八六	合計	一八、〇三四、四一一•八六

純益分配案

本期純益金		奉小洋　四、六三七、七〇八・七五
株主配當	(純利益の八割)一株配當金平均十八元二角年利五割〇五五五	奉小洋　三、七〇六、二四七・九二
職員事務員賞與	(純利益の二割)	奉小洋　九二七、五四一・七五
後期繰越金		同　三、九一九・〇八

(二)　瀋陽儲蓄會

所　在　地　遼寧省城鐘樓南

分會所在地　長春、雙城

設　　　立　大正十年四月

組　　　織　株式

資　本　金　奉小洋　三、六〇〇、〇〇〇元

役　　　員

會　長　超未清

副會長　馬宏允、毛毓生
總經理　常錫泰
營業科目　儲蓄、預金、貸出
營業狀態　成績極めて惡るく久しく營業停止中である。
備考　昭和四年十月三十日役員會に於て遼寧省城鐘樓南魁畬祥軍服莊（張學良各夫人の出資に係り錢業をも營む）經理蘇若泉に一切を讓渡することに決す。

（三）裕民儲蓄會

所在地　遼寧省城鐘樓南
分會所在地　洮南
設立　大正十一年二月
組織　株式
役員
經理　盧秀岩、張子衡
資本金　奉小洋　六〇〇、〇〇〇元
營業科目　預金、貸出、儲蓄

營業狀態　昭和三年四月末營業狀態（奉小洋勘定）

貸出總額	一、七四〇、〇〇〇元
預金總額	一、〇〇〇、〇〇〇元
積立金總額	二四〇、〇〇〇元

（四）遼寧商埠協濟儲蓄會

所在地　遼寧商埠地

設立　大正十二年

營業狀態　昭和三年六月末に於ける決算報告（奉小洋勘定）

拂込資本	六一〇、一四〇・〇〇元
利益合計	九七一、七四一・〇七
內譯	
貸付利息	七五二、七五五・三三
分店貸付利息	九五、二二二・六二
雜收入	一一四、三一〇・七二
代理店貸付利息	九、四五二・四〇

損失合計	六四五、九九七・六五
內譯	
各種支出	一一〇、八〇二・七二
分店經費	一一、七七三・九九
預金利息	四八七、九三五・四三
責任株式配當	二九、二八六・七二
店舗償却	五、七〇四・三六
創業費償却	四九四・四三
差引利益	三二五、七四三・四二
此處分案	
積立金（一割）	三二、五七四・三二（責任配當外）
株主配當（七割）	二二八、〇二〇・三九
職員賞與（二割）	六五、一四八・六九
繰越	一、一四〇・九七

第二節　安　東

當省に於ける金融機關は遼寧を除きては他は極めて微々たるものにして、安東に本店を有するものは東邊實業銀行あるのみ。其他には二支店一儲蓄會があるに過ぎない。

一（本店）

東邊實業銀行

所在地　安東中富街

設　立　大正七年

沿　革　當初儲蓄會と稱し公稱資本金小洋錢一、八〇〇、〇〇〇元（半額拂込）なりしも民國十年下期に至り現名に改稱し奉天に支店を設置すると共に新株三六、〇〇〇株額面五〇元を發行し四分の一拂込にて合計拂込資本金小洋錢一、三五〇、〇〇〇元となした。其後奉天支店の業績一向振はず遂に民國十四年之を撤廢し新株に對し更に四分の一を拂込ましめ合計小洋錢一、八〇〇、〇〇〇元とした。民國十六年小洋錢建を大洋錢建に變更大洋錢一〇〇元に對し小洋錢一二〇元の率により資本金現大洋一、五〇〇、〇〇〇元に改めた。

役員
支配人　王少東
常務董事　佟兆元
董　事　方紹九、陳國卿、紀仁卿、孫朗軒、孫德堃、楊日升、李德山、曲玉堂、顧式堂、李化南

資本金　現大洋　三、〇〇〇、〇〇〇元　拂込　一、五〇〇、〇〇〇元

營業科目　各種預金貸付爲替

營業狀態　昭和三年末に於けるもの（現大洋勘定）

各種貸付金總額	三、〇七四、八一六・〇〇
各種預金總額	二、七五六、二八八・二一
積立金總計	五八一、七七八・六〇
純　益　金	一五一、一五八・〇〇
貸出利率	日步四錢
當座預金利率	日步四厘

二（支店）

（一）東三省官銀號安東分號

所在地　安東興隆街

本店所在地　遼寧

設立　明治四〇年（光緒三十三年）

役員

經理　金文軒

營業科目　農業、柞蠶、筏材等に對する資金の貸付、預金

營業狀態　昭和三年末貸出總額（鎭平銀）　三〇〇、〇〇〇兩

同　預金總額（同　）　一、〇〇〇、〇〇〇兩

貸出利率　月一分二厘

（二）中國銀行安東支店

所在地　安東中齊街

本店所在地　上海

設立　大正三年

役員

經　理　饒模菴

營業科目　貸出、預金、爲替、關稅收入取扱

營業狀態　昭和三年末貸出總額（鎭平銀）　四〇〇、〇〇〇兩

同　預金總額（同　）　九〇〇、〇〇〇兩

同　純利益（同　）　四〇、〇〇〇兩

當座預金利率　日步四厘

貸出利率　日步四錢

三（儲蓄會）

地方儲蓄會

所在地　安東官電街

設立　大正八年

組織　株式會社

役員

經　理　于子文

資本金　小洋錢　六〇〇、〇〇〇元（全額拂込）

營業科目 預金、貸出
營業狀態 昭和三年末純利益 小洋錢 一四〇、〇〇〇元

第三節 營口

當地に本店を有するものなくたゞ四支店あるのみ。銀爐には古來著名なものがある、

一（支店）

（一）東三省官銀號營口分號

所在地 營口東大街
本店所在地 遼寧
設立 明治四十三年（宣統二年）
役員
　經理 盧伯江
　營業主任 謝欣如
營業科目 一般銀行業務
營業狀態 最近不振。貸出利率 月 一分四厘

(二) 邊業銀行營口支店

所在地　營口重盛街

本店所在地　遼寧

設立　昭和四年(民國十八年)八月

役員

經理　李翰三

營業主任　高仲屏

會計主任　陳濟川

營業科目　一般銀行業務

營業狀態　昭和四年八月末貸出總額　現洋三〇〇、〇〇〇元

當座預金利率　月三厘

貸出利率　月一分四厘

(三) 交通銀行營口支店

所在地　營口東大街

本店所在地　上海

設　　立　明治四十三年（宣統二年）

役　　員

經　　理　顧仲甫

營業主任　胡文波

營業科目　一般銀行業務

營業狀態　昭和四年九月末貸出總額　現洋　四〇〇、〇〇〇元

貸出利率　月一分二厘

（四）中國銀行營口支店

所 在 地　營口西北街

本店所在地　上海

設　　立　明治四十年（光緒三十三年）

役　　員

經　　理　章肅巖

營 業 長　任義延

營業科目　一般銀行業務

營業狀態　貸出利率　月一分二厘

十一（銀爐の主なるもの）

（一）公益銀號

所在地　營口西大街

設立　大正九年八月九日

組織　株式會社、一株過爐銀一〇〇兩、五、〇〇〇株

役員

經理　姜漢章

資本金　過爐銀　五〇〇、〇〇〇兩

營業科目　過爐銀發行

營業狀態　昭和四年十月末貸出額過爐銀　二、五〇〇、〇〇〇兩

（二）毓記銀號

所在地　營口東大街

設立　大正十一年八月八日

組織　合資にして資本主は鮑英麟、張學良

役　　員
　經　　理　赦相臣
資本金　過爐銀　三〇〇、〇〇〇兩
營業科目　過爐銀發行
營業狀態　昭和四年十月末貸出額　過爐銀　二、五〇〇、〇〇〇兩
　同　　積立金　同　三〇〇、〇〇〇兩

（三）公濟號

所在地　營口東大街
設　立　昭和元年（民國十五年）四月五日
組　織　東三省官銀號の出資に係る
役　員
　經　　理　馬福田
資本金　過爐銀　五〇〇、〇〇〇兩
營業科目　過爐銀發行

（四）世昌德銀號

所在地　營口西大街
設立　明治二十五年（光緒十八年）五月八日
組織　合資、資本主　王海安、王仲義
役員
經理　喬君平
資本金　過爐銀　五〇〇、〇〇〇兩
營業科目　過爐銀發行
營業狀態　昭和四年十月末貸出額　過爐銀　一、五〇〇、〇〇〇兩
同　積立金　同　一五〇、〇〇〇兩

（五）永惠興銀號

所在地　營口西大街
設立　明治四十年（光緒三十三年）六月十九日
組織　個人經營、資本主　鄭陳（天津居住）
役員
經理　謝裕琨

資本金 過爐銀 二〇〇、〇〇〇兩

營業科目 過爐銀發行

營業狀態 昭和四年十月末貸出額 過爐銀 一、五〇〇、〇〇〇兩

同 積立金 同 二〇〇、〇〇〇兩

（六）東記銀號

所在地 營口西大街

設立 大正十二年一月十七日

組織 合資 資本主 公順東、宏順東

役員 經理 孫辛堂

資本金 過爐銀 三〇〇、〇〇〇兩

營業科目 過爐銀發行

營業狀態 昭和四年十月末貸出額 過爐銀 五、〇〇〇、〇〇〇兩

同 積立金 同 一、〇〇〇、〇〇〇兩

（七）永茂號

所在地 營口西大街

設　立　明治四十三年（宣統二年）
組　織　個人經營　資本主　東永茂
役　員
　經　理　劉懷卿
資本金　過爐銀　二〇〇、〇〇〇兩
營業科目　過爐銀發行
營業狀態　昭和四年十月末貸出額　過爐銀　一、五〇〇、〇〇〇兩
　同　積立金　同　三〇〇、〇〇〇兩

第四節　瓦房店

東三省官銀號復縣分號
所在地　瓦房店舊市街中央街
本店所在地　遼寧
設　立　大正元年
役　員
　經　理　傅敬時

營業狀態　徵稅事務を取扱ふのみにして他に營業なし。金額奉大洋約一〇〇、〇〇〇元に達する毎に遼寧總號に現送す。

第五節　遼陽

一（支店）

東三省官銀號遼陽分號

所在地　遼陽城內北街

本店所在地　遼寧

設立　明治四十一年（光緒三十四年）

役員

經理　侯佩琳

副經理　鄭國義

營業狀態　營業科目として預金、貸出、爲替を揭け居るも少額の爲替取扱あるのみにて外にみるべき業績なし。

二（儲蓄會）

遼陽地方儲蓄會

所在地　遼陽城內東二道街

設立　大正八年六月

沿革　當地方唯一の金融機關たる東三省官銀號の營業振に不滿を抱ける小商人により株式組織を以て開設せられたものである。

役員

正會長　白永貞

副會長　帥子倫

營業科目　各種預金貸付

營業狀態　昭和三年度上半期に於ける資產負債表は次のことくである（奉小洋勘定）

資產の部		負債の部	
定期貸付	元 一、三六〇、〇〇〇•〇〇	資本總額	一、四四二、七三六•〇〇
定期擔保貸付	一、〇六二、三七〇•〇〇	積立金	三五七、〇三二•七八
當座貸付	二一〇、三五四•〇〇	定期預金	一、八五九、七一〇•八五
當座擔保貸付	一一、二四三•〇〇	當座預金	三、三〇四、六六七•一二
奉天官銀號預金	五、二八〇、〇〇〇•〇〇	修學貯金	九二三•四〇
有價證券	五七、三六〇•〇〇	借入金	三〇〇、〇〇〇•〇〇
土地建物	一八〇、〇〇〇•〇〇	本年半期總純益金	一、一二四、〇七〇•一六
營業用土地建物	二三、一五四•三四		

營業用什器	三、三五二・一九		
現金	二〇一、三〇六・七八		
合計	八、三八九、一四〇・三一	合計	八、三八九、一四〇・三一

又同損益表は次のことくである。

利益の部		損失の部	
貸付金利子	一、二八九、九九三・〇四	預金利息	九六、七〇六・九七
有價證券配當	一〇、〇八〇・〇〇	各種支拂	七九、二九五・九一
		内譯　帳簿筆墨	一、七二三・二五
		俸給給料	三四、八一八・〇〇
		薪炭費	五、一二八・七〇
		通信費	五、九三二・五二
		旅費	八、一二九・三三
		雜費	二三、五六四・一一
		本年半期純益	一、一二四、〇七〇・一六
合計	一、三〇〇、〇七三・〇四	合計	一、三〇〇、〇七三・〇四

第六節 鐵　嶺

東三省官銀號鐵嶺分號

所在地　鐵嶺東關大街公濟棧內

本店所在地　遼寧

沿革　光緖三十二年（明治四十年）鐵嶺に於ける穀物商四十七戶連名にて同號支店設置方を省長に願出同年八月二十日認可設立せられ今日に至る、最近貸出を中止し僅かに少額の爲替を取扱ふのみである。

役員

經理　任濟革

第七節 開　原

一（支　店）

（一）東三省官銀號開原分號

所在地　開原掏鹿大街六十八番地

本店所在地　遼寧

設立　大正元年二月十日

役　員
經　理　陳祜銘
營業科目　預金、貸出、爲替
營業狀態　昭和四年六月末預金　奉大洋　一四、〇一八、〇三四元
同　　貸出　同　五、二四三、〇〇〇元
當座預金利息　月二厘四毛
貸出利息(普通)　月一分二厘

（一一）　中國銀行開原支店
所在地　開原昌平街二十六番地
本店所在地　上海
設立　大正九年五月
役員
經理　杜毓秀
營業科目　內外爲替一般銀行業務
營業狀態　昭和三年末貸出　現大洋　八五七、二〇〇元

昭和三年末預金　現大洋　二、九一九、四〇〇元
同　純利益　同　一〇、〇一三元二五
當座預金利息　月一厘五毛
定期　同　月五厘
貸出利息（普通）　月九厘

（三）　交通銀行開原支店

所在地　開原掏鹿大街六十一番地
本店所在地　上海
設立　大正二年六月二十二日
役員
經理　呉鼎
營業科目　一般銀行業務
營業狀態　昭和三年末貸出　現大洋　二五、二〇〇元
同　預金　同　一七六、三三四元
同　純利益　同　四、八〇〇元

當座預金利息　月二厘四毛
定期　同　月三厘
貸出利息　月一分五厘

第八節　四平街

一（支店）

（一）東三省官銀號四平街分號

所在地　四平街中央大街天益恒院內
本店所在地　遼寧
設立　大正十二年三月十六日
役員
經理　楊蔭蒼
副經理　張欲九
營業科目　預金、貸出、爲替
營業狀態　昭和三年末貸出　奉大洋　一、一三〇、五〇〇元
同　預金　同　三五〇、〇〇〇元

昭和三年末純利益　奉大洋　一一四、〇六七・〇四元

當座預金利率　月八毛

定期　同　月三厘

貸出　同　月一分三厘

（二）邊業銀行四平街支店

所在地　四平街附屬地玉成隆院內

本店所在地　遼寧

設立　昭和四年七月十日

役員

經理　董明幹

營業科目　小口信用貸及爲替

營業狀態　開業日淺く未た明かならざるも將來の活躍は注目さる。

（三）交通銀行四平街支店

所在地　四平街日進街三丁目三十二番地

本店所在地　上海

設　　立　大正七年五月二十六日
役　　員
　經　　理　呉善培
營業科目　各種預金貸出爲替
營業狀態　昭和三年末貸出　奉大洋　七五〇、〇〇〇元
　同　　預金　同　三、二四〇、〇〇〇元
　當座預金利率　月三厘
　定　期　同　月五—八厘
　貸　出　同　月一分二厘

第九節　郭家店

東三省官銀號郭家店分號
所在地　郭家店附屬地南一條街二丁目
本店所在地　遼寧
設　　立　大正十四年九月十八日

役　員

經　理　馮箴三

協　理　陳潤芝、李孟岩

營業科目　爲替、貸付

營業狀態　昭和三年末貸出　奉大洋　二二七、〇〇〇元

同　預　金　ナシ

同　純利益　奉大洋　一九、〇八六元

貸出利息　月一分四厘

第十節　公　主　嶺

一（支　店）

（一）東三省官銀號公主嶺分號

所　在　地　公主嶺附屬地朝日町一丁目

本店所在地　遼寧

設　立　大正十三年七月十三日

役　員

經　　理　　史乾元
襄　　理　　郭紹先

營業科目　預金、貸出、爲替
營業狀態　昭和四年六月末預金奉大洋　三、二三七、一七一・四四元
同　　貸出同　三、〇七四、〇〇〇元
昭和三年末純利益　現大洋　四、〇〇〇元
當座預金利息　月　三厘
定期同　月　六厘
貸出利息（普通）　月　一分六厘

（二）中國銀行公主嶺支店

所在地　公主嶺附屬地市場町二丁目
本店所在地　上海
設立　大正四年七月一日
役員
經　　理　　李　倫

營業科目　內外爲替、一般銀行業務

營業狀態　昭和三年末貸出　現大洋二四六、九八九元

同　　　　預金　同　二七五、一七六元

當座預金利息　月　三厘

定期預金利息　月　六厘

貸出利息（普通）　月　一分二厘

第十一節　范家屯

東三省官銀號范家屯分號

所在地　范家屯附屬地南大通五號地

本店所在地　遼寧

設立　昭和二年八月一日

役員

經理　毛汝騏

營業科目　預金、貸出、爲替

營業狀態　昭和四年六月末預金　奉大洋　二〇、〇〇〇元
同　　貸出　同　三六七、四〇〇元
貸出利率（普通）　月　一分四厘

第十二節　撫　順

一（支　店）
東三省官銀號撫順分號
所在地　撫順千金寨前新市街
本店所在地　遼寧
設　立　大正七年九月
役　員
經　理　馬際生
營業科目　一般銀行業務
營業狀態　殆んどみるへきものなし
二（儲蓄會）
（一）撫順大同儲蓄會
所在地　撫順西四條通

本會所在地　遼寧(大同銀行)

設　立　大正十一年三月一日

役　員

總經理　尙志

資本金　奉小洋三、六〇〇、〇〇〇元　拂込二、一〇五、二四九元

營業科目　一般錢業、粮棧、油房業

營業狀態　昭和三年末貸出總額　奉小洋一、五〇〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　三〇〇、〇〇〇元

當座預金利率　月　五厘

定期同　月　一分

貸出利率　月　二分五厘乃至三分

(二) 地方儲蓄會

所在地　撫順千金寨銀行大街

設　立　大正五年三月一日

沿革 開設以來成績良好にして焼鍋をも兼營す奉票暴落に際し別に現大洋資本を增加せり

組織 株式會社

役員
監理 丁超
總理 黃愼齋
經理 李瀛洲

資本金 奉小洋 六〇〇、〇〇〇元 現大洋 一〇〇、〇〇〇元 全額拂込

營業科目 儲蓄及一般錢業

營業狀態 昭和三年末貸出總額 現大洋 一五〇、〇〇〇元
同 預金總額 同 一〇〇、〇〇〇元
同 純利益 奉小洋 一五〇、〇〇〇元
當座預金利率 月 五厘
定期預金利率 月 九厘
貸出利率 月 二分二厘

（三）興業儲蓄會

所在地　撫順千金寨
設　立　大正十三年十月十五日
組　織　株式會社
役　員
　會　長　王明宇
　經　理　劉漢卿
資本金　奉小洋八〇〇、〇〇〇元　全額拂込
營業科目　儲蓄、預金、貸出、質業
營業狀態　昭和三年末貸出總額　現大洋　六〇、〇〇〇元
　同　預金總額　同　七〇、〇〇〇元
　同　純利益　奉小洋一〇〇、〇〇〇元
　當座預金利率　月　五厘
　定期預金利率　月　一分
　貸出利率　月　三分

三（錢號）

（一）裕東銀號

所在地　撫順西七條通五六番地

設　立　大正十一年七月

組　織　株式會社

役　員

總經理　白化南

經　理　張英閣

資本金　現大洋五〇、〇〇〇元　奉大洋一、三〇〇、〇〇〇元　全額拂込

營業科目　一般錢業、糧業

營業狀態　昭和三年末貸出額　現大洋　二七、〇〇〇元

同　預金　同　一五、〇〇〇元

同　積立金　同　一〇、〇〇〇元

同　純利益　奉小洋　八〇〇、〇〇〇元

當座預金利率　月　六分

定期同　月　一分五厘

貸出利率　月　三分

（二）東省實業公司、

所在地　撫順千金寨縣署大街

設立　昭和三年八月一日

組織　株式會社

役員

總經理　莊允中

經理　佟綽然

資本金　現大洋　四〇〇、〇〇〇元　拂込　同　一〇〇、〇〇〇元

營業科目　一般錢業

營業狀態　昭和三年末貸出總額　現大洋　五〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　一〇〇、〇〇〇元

同　純利益　同　二〇、〇〇〇元

當座預金利率　月　三厘

定期預金利率　月　一分
貸出利率　月　二分

第十三節　本渓湖

一（支店）

東三省官銀號本渓湖分號

所在地　本渓湖城内河東街

本店所在地　遼寧

設立　大正十年一月

役員

經理　洪錫九

營業狀態　以前は奉票の貸出を行ひたるも最近は之を扱はず僅に少額の爲替を取扱ふのみ

二（儲蓄會）

本渓湖儲蓄會

所在地　本渓湖城内

設立　大正七年四月

組織　株式組織

役　員

會　長　常雲山

副會長　王恒同、劉秀峯

經　理　張純九

資本金　奉小洋　六〇〇、〇〇〇元

營業科目　預金、貸付

營業狀態　本會設立當時は他に金融機關なく盛んに活動せるも後奉票暴落し貸付金回收不能に陷り遂に昭和三年九月一時休業し目下整理中てある。

第十四節　鄭家屯　附　開魯

一（支　店）

東三省官銀號遼源分號

所在地　鄭家屯南大街

本店所在地　遼寧

設　立　明治四十三年（宣統二年）

役　員

經　理　馮仲文

營業科目　貸付、爲替

營業狀態　良好

二（銀號）

慶畬銀號

所在地　鄭家屯南大街

設立　大正二年

沿革　民國二年奉天より當地に移設せし場合は資本奉票一〇、〇〇〇元にして全部張作霖の出資にして紙幣を發行し貸付を行つた。民國十四年財產を淸査せしに奉票二、二〇〇、〇〇〇元の利益があつた。民國十六年奉票暴落のため貸出を回收し資產を淸算の上資本金を現大洋一〇〇、〇〇〇元に改め以後一般貸出を停止し僅かに投機的貸付を行ふのみとなつた。

役員

經　理　王璽瑞

資本金　現大洋一〇〇、〇〇〇元

營業科目　貸出

營業狀態　昭和四年八月末　貸出金　奉大洋　四、〇〇〇、〇〇〇元　現大洋　一三〇、〇〇〇元

商家に對する貸出利率月八分乃至一割

三、開魯所在

（一）熱河興業銀行開魯支店

所在地　熱河特別區開魯縣城東大街

本店所在地　熱河

設立　大正八年五月

組織　株式

役員

　經理　孫鴻齡

　副經理　陳寶琛

資本金　現大洋　二、〇〇〇、〇〇〇元

營業科目　預金、貸付、兌換

營業狀態　年々兵亂の影響をうけ貸出を停止し只少額の預金、爲替を取扱ふのみ。

（二）利開銀號

所在地　熱河特別區開魯縣城東大街

設立　昭和三年五月

組織　株式、一株現大洋五十元、一、〇〇〇株

役　員
經　理　單子甄
資本金　現大洋　五〇、〇〇〇元　拂　込　一二、五〇〇元
營業科目　貸出　預金
營業狀態　昭和三年末純益　現大洋　二、〇〇〇元
貸出利率月　五分

第十五節　洮　南

一（支　店）
（一）東三省官銀號洮南分號
所　在　地　洮南興隆西街
本店所在地　遼寧
設　立　大正五年三月
沿　革　開設後貸出を盛んに行ひ民國十年には共總額奉票三、〇〇〇、〇〇〇元に達したるも十一年頃より商況不振奉票下落のため漸次回收し十六年末には全部回收を終へたり。

役　員
　　經　理　陳德山
　　副經理　陳如章
營業科目　爲替
營業狀態　貸出預金は行はず奉票の爲替を取扱ふのみ

(二)　交通銀行洮南支店

所在地　洮南興隆西街
本店所在地　上海
設立　大正十二年十月
役員
　　分行長　潘祖丞
營業科目　四洮鐵路の收支取扱、一般爲替業務
營業狀態　昭和三年金融逼迫に乘じ現大洋の高利貸出を開始す
　　同年末貸出總額　現大洋　三〇〇、〇〇〇元
　　貸出利率　月　五分

二（儲蓄會）

遼寧儲蓄會洮南分會

所在地　洮南富文東街同盛和院內

本店所在地　遼寧

設立　大正十年三月

役員

經理　劉敎之

營業科目　定期儲蓄、貸出

三（銀號）

惠南銀號

所在地　洮南柴市胡同商務會內

設立　昭和三年四月

組織　合資

役員

經理　任鏡宇

資本金　現大洋　五〇、〇〇〇元

營業科目　貸出

營業狀態　昭和三年末貸出總額　現大洋　三八、〇〇〇元
同　　純利益　同　　一二、〇〇〇元
貸出利率　　月　　四分

第十六節　新　民

東三省官銀號新民分號
所在地　新民府大街
本店所在地　遼寧
設立　明治四十二年（宣統元年）三月
役員
　經理　宋九齡
營業科目　爲替
營業狀態　貸出預金共に利用者なく取扱中止。小額の爲替を扱ふのみ。

第十七節　錦　縣

東三省官銀號錦縣分號
所在地　錦縣鼓樓西街
本店所在地　遼寧
設立　明治四十一年（光緒三十四年）三月
役員
經理　齊益臣
營業科目　爲替
營業狀態　民國初年迄は相當活躍せるも漸次縮少し目下單に少額の爲替を取扱ふのみ。

第十八節　海龍

一（支店）
東三省官銀號海龍分號
所在地　海龍縣海龍街東關
本店所在地　遼寧
設立　大正三年七月
役員

經　理　傅靜志

營業科目　爲替及官署金庫代理、特産賣買

營業狀態　貸出は民國十五年以來停止中、預金は皆無

二（儲蓄會）

遼寧儲蓄會海龍分號

所在地　海龍縣海龍街東關

本會所在地　遼寧

設　立　大正六年八月

役　員

經　理　楊希聖

營業狀態　極めて不良、儲蓄奉票一〇〇、〇〇〇元内外あるのみ。

第十九節　北山城子

東三省官銀號北山城子出張所

所在地　海龍縣北山城子大街

本店所在地　遼寧

設　　立　大正三年
役　　員
　　經　　理　趙趾會
營業科目　預金、貸出、爲替、特產賣買
營業狀態　目下爲替及特產の賣買を行ふのみ、他は停止中。

第二十節　柳　河

一（支　店）
東三省官銀號柳河分號
所　在　地　柳河縣城西街
本　　店　遼寧
設　　立　大正六年
役　　員
　　經　　理　楊冠芝
營業狀態　爲替を取扱ふのみ。
二（儲蓄會）
地方儲蓄會

所　在　地　柳河縣城本街
設　　　立　大正十年
組　　　織　株式
役　　　員
　　經　　理　劉如林
資　本　金　奉大洋　五〇〇、〇〇〇元
營業科目　儲蓄及貸出
營業狀態　現在店を閉鎖し貸金の回收をなしつゝあり。

第二十一節　輝　　南

東三省官銀號輝南分號
所　在　地　輝南縣城南大街
本店所在地　遼寧
設　　　立　大正六年七月
役　　　員

經理　劉昆三

營業狀態　特產出廻期に際し爲替を取扱ふのみ

第四章　吉林省

當省には哈爾濱をはじめ吉林長春のごとく古くより發展せる都市あり金融機關も從つて早くより發達してゐた。然し新式銀行の創立をみたるは極めて最近のことにして且つ多くは他省に本店を有するものゝ進出せるものである。其數を地方別に表示すれば次のごとくである。

地名	本店	支店 本店所在地 省内	支店 本店所在地 滿洲内	支店 本店所在地 滿洲外	支店 合計	儲蓄會 本會	儲蓄會 分會
吉林	一	—	二	二	四	五	一
哈爾濱	二	三	六	四	一三	—	—
長春	二	一	二	二	五	一	一
敦化	—	一	—	—	一	—	—

双城堡	—	一	二	—	三	—	一
寧古塔	—	一	一	—	二	—	—
合計	五	七	一三	八	二八	六	三

第一節　吉　林

當地に本店を有するものは永衡官銀錢號のみにして他は盡く支店又は儲蓄會である。支店の數は四であるが儲蓄會は六を算しいづれも相當の成績を擧げつゝあるは注目すべきである。

一（本　店）

吉林永衡官銀錢號

所　在　地　吉林省城西大街

支店所在地・吉林省内各主要地

設　　　立　明治四十二年（宣統元年）十一月

沿　　　革　光緒二十四年（明治三十一年）官帖局が創設せられ後光緒三十四年（明治四十一年）官錢局が附設せられ更に宣統元年十一月に至り兩者合併して現名に改められ吉林省中央銀行となつたものである。

設立當時は特に資本金と稱するものを定めず官帖局及官錢局の債權債務一切を引繼き別に中央政府より若干の資金を借入れ之を運轉資金とした。同號章程第二章第八條に「本號ノ資本金ハ本號所有ノ資產及金庫有高ヲ以テ之ニ充ツ」と規定せり。

役　員
總　辦　劉錫九
會　辦　閻霈嶺、秦紹伯

營業科目　預金、貸出、爲替、兌換、地金銀の賣買、穀類賣買
質業、其他各種商業及拓殖事業

營業狀態　昭和三年末貸出總額、永大洋　四、四〇〇、〇〇〇元
同　官帖　二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇吊
昭和三年末純利益　永大洋　四〇〇、〇〇〇元
同　官帖發行高　八、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇吊
同　永大洋發行高　一〇、〇〇〇、〇〇〇元
貸出利率　月九厘乃至一分四厘

二（支　店）

（一）東三省官銀號吉林分號

所在地　吉林省城河南街

本店所在地　遼寧

設立　大正八年

役員

經理　姚東郊

營業科目　預金、貸出、爲替

營業狀態　昭和三年末貸出總額哈大洋　五〇、〇〇〇元　奉大洋　二〇〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　二〇、〇〇〇元

同　純利益　同　一六、〇〇〇元

貸出利率　月一分五厘

（二）邊業銀行吉林支店

所在地　吉林省城河南街

本店所在地　遼寧

設立　大正十四年八月

役　　員
經　　理　　管子餘
營業科目　貸出（他は行はず）
營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　八五〇、〇〇〇元
同　　純利益　同　　五〇、〇〇〇元
貸出利率　月一分二厘乃至一分四厘

（三）中國銀行吉林支店
所　在　地　吉林省城糧米行街
本店所在地　上海
設　　立　大正二年二月
役　　員
經　　理　　顧子餘
營業科目　預金、貸出、爲替其他一般銀行業務
營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　一、一五〇、〇〇〇元
同　　預金總額　同　　一、〇〇〇、〇〇〇元

昭和三年末純　益　　　哈大洋　　　五〇、〇〇〇元
當座預金利率　月三厘
定期預金利率　月五厘
貸出利率　月一分二厘乃至一分五厘

（四）交通銀行吉林支店

所在地　吉林省城北大街
本店所在地　上海
設立　大正二年三月十五日
役員
　經理　劉劭靑
營業科目　預金、貸出、爲替、其他一般銀行業務
營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　七五〇、〇〇〇元
同　預金總額　同　四〇〇、〇〇〇元
同　純利益　同　一〇、〇〇〇元
當座預金利率　月三厘

定期預金利率　月五厘

貸出利率　月一分二厘乃至一分五厘

三（儲蓄會）

（一）吉林益民儲蓄會

所在地　吉林省城糧米行街

設立　大正十四年五月

沿革　開設當時は奉小洋一、三五〇、〇〇〇元を資本とせるも民國十五年五月哈大洋　三〇〇、〇〇〇元に改む

組織　株式組織

役員

經理　趙世五

資本金　哈大洋　三〇〇、〇〇〇元　全額拂込

營業科目　貸出、預金

昭和三年末貸出總額　哈大洋　一三〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　七〇、〇〇〇元

昭和三年末純利益　哈大洋　九二、〇〇〇元
預金利率　月三厘六毛乃至一分八厘
貸出利率　月二分四厘

（二）吉林實業儲蓄會

所在地　吉林省城北大街
設立　大正十四年七月
組織　株式組織
役員
經理　劉夢坡
資本金　哈大洋　三〇〇、〇〇〇元　全額拂込
營業科目　貸出、預金
營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　六五〇、〇〇〇元
同　預金總額　同　一五〇、〇〇〇元　永大洋　四〇、〇〇〇元
同　積立金　金　五〇、〇〇〇圓
同　純利益　現大洋　七〇、〇〇〇元

定期預金利率　月一分

貸出利率二分四厘

（三）吉林吉長忠信儲蓄總會

所在地　吉林省城北大街

設立　大正十三年二月

組織　株式組織

役員

經理　趙鏞九

資本金　現大洋三〇〇、〇〇〇元　全額拂込

營業科目　貸出、預金

營業狀態　昭和元年末貸出總額　現大洋　二一四、〇〇〇元

同　官帖　六、七〇〇、〇〇〇吊

同　預金　現大洋　七〇、〇〇〇元

同　官帖　一、三〇〇、〇〇〇吊

昭和三年末純利益　哈大洋　一二〇、〇〇〇元

定期預金利率　月一分四厘
貸出利率　月二分四厘

（四）吉林忠誠儲蓄會

所在地　吉林省城糧米行街
設立　大正十四年十二月
組織　株式組織
役員
經理　陳毓峯
資本金　現大洋三〇〇、〇〇〇元　全額拂込
營業科目　貸出、預金
營業狀態　昭和二年末貸出總額　現大洋　一七二、〇〇〇元
同　官帖　九、三八〇、〇〇〇吊
同　預金總額　現大洋　四〇、〇〇〇元
同　官帖　三、〇〇〇、〇〇〇吊
預金利率　月一分乃至一分五厘

貸出利率　月二分四厘

（五）吉林大同儲蓄會

所在地　吉林省城北大街

設立　大正十四年九月六日

組織　株式

役員

經理　孔郁吾

資本金　哈大洋　三〇〇、〇〇〇元

營業科目　預金、貸付

營業狀態　昭和元年末貸出總額　哈大洋　一五〇、〇〇〇元　官帖　一、〇〇〇、〇〇〇吊

同　預金總額　同　三〇、〇〇〇　同　一、〇〇〇、〇〇〇吊

定期預金利率　月一分三厘乃至一分五厘

貸出利率　月二分四厘

（六）遼寧儲蓄會吉林分會

所在地　吉林省城河南街天利金店

本店所在地　遼寧
設　立　大正十年十二月
役　員
經　理　曹子岐
營業科目　儲蓄、貸出、預金
營業狀態　昭和元年末貸出總額　奉小洋　三〇〇、〇〇〇元
同　哈大洋　一四〇、〇〇〇元
當座預金利率　月八厘
定期預金利率　月一分四厘
貸出利率　月二分四厘

四（銀號）

（一）裕農銀號
所在地　吉林官胡同
設　立　大正十年
組　織　株式

役　員　代表者　李選三

資本金　哈大洋　三〇〇、〇〇〇元

營業科目　預金、貸出

營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　四二〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　五〇、〇〇〇元

同　純利益　同　五五、〇〇〇元

貸出利率　月二分乃至二分四厘

(二)　裕東銀號

所在地　吉林省城北大街

設　立　昭和元年三月

組　織　株式

役　員　代表者　李選三

資本金　哈大洋　三〇〇、〇〇〇元

營業科目　預金、貸出
營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　四〇〇、〇〇〇元
　　　同　　預金總額　同　　七〇、〇〇〇元
　　　同　　純利益　同　　五四、〇〇〇元
　　　貸出利率　月二分乃至二分四厘

（三）　惠吉銀號
所在地　吉林省城北大街
設立　昭和元年五月
組織　株式
役員
　　代表者　李選三
資本金　現大洋　一五〇、〇〇〇元　全額拂込
營業科目　預金、貸出
營業狀態　昭和三年末貸出總額　現大洋　二〇〇、〇〇〇元
　　　同　　預金總額　同　　三〇、〇〇〇元

昭和三年末純利益　現大洋　二八、〇〇〇元
貸出利率　月二分乃至二分四厘

第二節　哈爾濱

哈爾濱は北滿に於ける最大の商業都市にして各種金融機關は古來大いに發達した。然し當地に本店を有する銀行は其數極めて少く其內容又語るに足らず。當地金融界の中樞をなせるものはいづれ他地に本店を有する各其支店である。而して其中には中國交通兩行支店のことく銀行としての形態を完備せるものと廣信公司のことく銀行業務よりも寧ろ他の附隨業務を主とするものとがある。又舊式金融機關にして其組織は依然舊態を脫せざるも其業績は新式のものに匹敵するもの少くない。

一（本　店）

（一）　濱江大同銀行

所在地　哈爾濱道外南三道街

設　立　昭和四年四月八日

沿　革　撫順大同儲蓄會の支店なりしも民國十八年同行整理に際し本行に對する持分哈大洋　三〇〇、〇〇〇元を引出して獨立せり。

組　織　株式會社、主なる株主張煥相、丁超
資本金　哈大洋一、〇〇〇、〇〇〇元
營業科目　一般銀行業務
營業狀態　儲蓄を主とし貸出を行ふ
(二)　濱江儲蓄銀行
所在地　哈爾濱道外八道街
設　立　民國十年六月
資本金　現大洋　五〇〇、〇〇〇元
營業科目　一般銀行業務
二(支　店)
(一)　永衡官銀號哈爾濱分號
所在地　哈爾濱道外北三道街
本店所在地　吉林
設　立　明治三十四年(光緒二十七年)
役　員

經　　理　陳友軒
副 經 理　何子久

營業科目　爲替、預金、貸出

營業狀態　昭和四年一月末預金總額　永大洋　五〇〇、〇〇〇元
同　　　　貸出總額　同　二、五〇〇、〇〇〇元
定期預金利率　月　　五厘
貸 出 利 率　月　　一分八厘

（二）益發銀行哈爾濱支店

所 在 地　哈爾濱道外正陽五道街
本店所在地　長春
設　　立　昭和元年十月
役　　員
　經　　理　李墨林
　副 經 理　安華亭

營業科目　爲替、貸出、錢粮業

營業狀態　昭和三年度に於て哈大洋三〇〇、〇〇〇元の利益を擧けたり

貸出利率　月　一分五厘

(三) 益通商業銀行哈爾濱支店

所在地　哈爾濱道外三道街

本店所在地　長春

設立　昭和四年四月

役員

經理　劉國藩

營業科目　爲替、貸出

營業狀態　舊式錢舖と大差なく業績又振はず

(四) 東三省官銀號哈爾濱分號

所在地　哈爾濱道外南四道街

本店所在地　遼寧

沿革　民國九年十月東三省銀行設立せられ後民國十三年奉天興業銀行と共に東三省官銀號に合併せらる

役員

經　　理　何策漢

副經理　顧爾繩

營業科目　預金、貸出、爲替、哈大洋發行

最近特產物の賣買に目覺ましき活動をなす

營業狀態　昭和四年一月末預金總額　哈大洋　六、〇〇〇、〇〇〇元

同　　　　貸出高　同　四、〇〇〇、〇〇〇元

哈大洋發行高　同　一一、〇〇〇、〇〇〇元

預金利率　月　三厘五毛乃至五厘

貸出利率　月一分三厘五毛乃至一分五厘

（五）邊業銀行哈爾濱支店

所在地　哈爾濱道外正陽三道街

本店所在地　遼寧

設　　立　昭和元年

役　　員

經　　理　富子齋

營業科目　預金、貸出、爲替、哈大洋發行
營業狀態　自行の發行せる紙幣を以て特產界に活躍を行ひ內外商人に脅威を感せしめつゝある。昭和四年一月末に於ける其發行高四、五〇〇、〇〇〇元と稱す。
預金利率　（當座）月　三厘　（定期）月　五厘
貸出利率　月　一分五厘

（六）遼寧商業銀行哈爾濱支店
所在地　哈爾濱道外十七道街
本店所在地　遼寧
設立　大正四年
營業科目　預金、貸出、爲替
營業狀態　業績あまり振はず

（七）滙華銀行哈爾濱支店
所在地　哈爾濱道外二道街
本店所在地　遼寧
設立　昭和二年

營業科目 貸出、預金、爲替

（八）廣信公司哈爾濱支店

所在地 哈爾濱道外正陽五道街

本店所在地 齊々哈爾

設立 明治四十一年（光緒三十四年）

役員

經理 廉善清

副經理 張季安

營業科目 預金、貸付、爲替、紙幣發行

營業狀態 銀行業務よりも寧ろ附屬營業たる製粉製油粮業等を主とす

預金利率 （當座）月 三厘 （定期）月 五厘

貸出利率 月 一分五厘

（九）中東實業銀行哈爾濱支店

所在地 哈爾濱埠頭區北九道街

本店所在地 齊々哈爾

設　　立　昭和三年
近　　況　支配人の不正行爲のため營業停止目下整理中

（一〇）中國銀行支店

所　在　地　哈爾濱道外正陽三道街
本店所在地　上海
隷屬支店　長春、吉林、黑龍江、黑河、綏化
設　　立　大正三年
役　　員
　　經　　理　卡仲茀
　　副 經 理　賀自畏
營業科目　貸出、預金、爲替、紙幣發行
營業狀態　爲替業務を主とし紙幣濫發を愼み投機をなさず堅實なる營業をなす
　　哈大洋の發行限度は　五、〇〇〇、〇〇〇元である
　　預 金 利 率　　月　　三厘乃至五厘
　　貸 出 利 率　　月　一分三厘乃至一分八厘

（十一）交通銀行哈爾濱支店

所在地　哈爾濱道外三陽三道街

本店所在地　上海

隷屬支店　長春、吉林、黑龍江

設立　大正三年五月

役員

經理　吳君肇

副經理　王紹季

營業科目　預金、貸出、爲替、紙幣發行

營業狀態　爲替を主とせるも最近は特產の賣買にも策動す

哈大洋の發行限度　八、〇〇〇、〇〇〇元である

預金利率　月　三厘乃至五厘

貸出利率　月　一分

（十二）金城銀行哈爾濱支店

所在地　哈爾濱道外正陽街

本店所在地　天津
設　　立　大正十年五月
營業狀態　目下殆んと休業の狀態にあり

（十三）大中銀行

所　在　地　哈爾濱道外北五道街
本店所在地　天津
設　　立　昭和四年十一月一日
資　本　金　現洋　四、〇〇〇、〇〇〇元（本店）　拂　込　一、六〇〇、〇〇〇元
役　　員
　總　理　閻澤溥
　協　理　孫鴻猶
　經　理　王　堂
營業科目　一般銀行業務
（備　考）

浙江興業銀行哈爾濱支店　民國十八年三月閉鎖
裕東銀行　目下有名無實の狀態
三信銀行　同上
哈爾濱商業銀行　同上

（錢舖）

（一）寶隆、峻
所在地　哈爾濱道外北三道街
設立　昭和元年一月
役員
經理　王丹實
資本金　鈔票　二〇〇、〇〇〇元
營業科目　爲替、錢業、粮業
營業狀態　昭和三年度に於ける純利益　哈大洋　五〇、〇〇〇元

（二）寶隆銀號
所在地　哈爾濱道外北頭道街

設立　昭和元年
役員
　經理　尹乃昌
資本金　鈔票　一五〇、〇〇〇元
營業科目　爲替、錢業、粮業
營業狀態　昭和三年度純利益　哈大洋　二〇、〇〇〇元

（三）功成玉

所在地　哈爾濱道外中頭道街
設立　明治三十二年（光緒二十五年）
役員
　經理　王培英
資本金　現大洋　六〇〇、〇〇〇元
營業科目　爲替、錢業
營業狀態　昭和三年度純利益　哈大洋　一〇〇、〇〇〇元

（四）敦昌號

所在地　哈爾濱道外正陽四道街
設立　大正五年
役員
　經理　王靜軒
資本金　現洋　一〇〇、〇〇〇元
營業科目　爲替、錢業
營業狀態　昭和三年度純利益　哈大洋　五〇、〇〇〇元

（九）　哈爾濱中大銀號

所在地　哈爾濱道外頭道街
本店所在地　齊々哈爾
設立　昭和二年六月
役員
　經理　劉步淸
營業科目　爲替、貸付、錢業、糧業
營業狀態　昭和三年度純益　哈大洋　三〇、〇〇〇元

第三節 長春

一（本店）

（一）益通商業銀行

所在地 長春城内南大街

支店所在地 哈爾濱

設立 大正八年一月

沿革 交通銀行長春支店及益發合の發起のもとに創立されたる株式銀行にして開業以來異常の好成績を擧けつゝあり。

役員

董事長 王荊山

董事 孫秀山、李黑赤、王宧清、張鳴東

經理 馬秉虔

資本金 現大洋 一、〇〇〇、〇〇〇元 拂込 二五〇、〇〇〇元

營業科目　預金、貸出、爲替、其他一般銀行業務

營業狀態　昭和三年度末に於ける業績次のことくである（現大洋勘定）

預金總額	四八六、一一二・三〇
貸出總額	一、三六〇、三四〇・〇〇
積立金	一一四、四二五・九三
純益金	八八、〇六三・三〇
當座預金利率	月　四厘
定期同	月　八厘
貸出利息（普通）	月　一分五厘

（二）益發銀行

所在地　長春城內西三道街

支店所在地　哈爾濱

設立　昭和元年十月

沿革　益發合の經營にして錢舖を改組せるものである

役員

監　督　孫有大
經　理　史享五
資本金　現大洋　二〇〇、〇〇〇元　全額拂込
營業科目　預金、貸出、爲替、錢鈔賣買
營業狀態　昭和三年末貸出總額　現大洋　一、九四五、〇〇〇元
同　預金總額　同　一、二〇五、五〇〇元
同　純利益　同　一一八、五〇〇元
當座預金利率　月　六厘
定期預金同　月　一分
貸出利率　月　一分五厘

二（支店）

（一）永衡官銀錢號長春分號
所在地　長春城內四道街
本店所在地　吉林
設立　大正三年

役　員
　經　理　王永治
營業科目　貸出、爲替、鑛山森林其他各種企業
營業狀態　昭和三年末貸出總額永衡大洋　五六〇、〇〇〇元
　貸出利率　月　一分三厘

（二）東三省官銀號長春分號

所在地　長春城內北大街
本店所在地　遼寧
設立　大正元年
役員
　經理　王化軒
營業科目　貸出、預金、爲替
營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　一、一〇〇、〇〇〇元
　同　純利益　奉大洋　一、六〇〇、〇〇〇元
　當座預金利率　月　四厘

定期預金利率月　六厘
貸出利率月　一分三厘

（三）邊業銀行長春支店

所在地　長春城内西四道街
本店所在地　遼寧
設立　大正十四年三月
役員
　經理　王麟閣
營業科目　預金、貸出
營業狀態　昭和三年末貸出總額　現大洋　二、二〇〇、〇〇〇元
　同　預金總額　同　一、〇〇〇、〇〇〇
　當座預金利率月　二厘
　貸出利率月　一分三厘五毛

（四）中國銀行長春支店

所在地　長春城内西三道街

本店所在地　上海
設　　立　大正二年
役　　員
　　經　　理　陳會儒
營業科目　貸出預金爲替、國庫代理事務、地金銀賣買其他一般銀行業務
營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　四五〇、〇〇〇元
　　同　　　　　　　金　　　二三〇、〇〇〇圓
　　同　　　預金總額　哈大洋　五五〇、〇〇〇元
　　同　　　純利益　同　　　三五、〇〇〇元
　　當座預金利率　月四厘
　　定期預金同　月六厘
　　貸出利率　月一分二厘

（一）交通銀行長春支店
所　在　地　長春城內西三道街
本店所在地　上海

設　立　大正元年

役　員

經　理　章淑淳

營業科目　貸出、預金其他一般銀行業務

營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　七〇〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　六七〇、〇〇〇元

同　純　益　同　二四、〇〇〇元

當座預金利率　月四厘

定　期　同　月六厘

貸　出同　月一分三厘

三（儲蓄會）

（一）吉長儲蓄會

所　在　地　長春城內西三道街

分會所在地　双城、吉林

設　立　大正十一年

役　員
　會　長　敎政辰
　經　理　關緝堂
資本金　現大洋　五〇〇、〇〇〇元
營業科目　預金、貸出
營業狀態　昭和三年末積立金額　現大洋　八〇、〇〇〇元
　同　純益金　同　七〇、〇〇〇元
　當座預金利率　月三厘
　定期豫金利率　月一分
　貸出利率　月二分

（二）遼寧儲蓄會長春分會
所在地　長春城內北大街
本店所在地　遼寧
設立　大正十年
營業科目　預金、貸出、儲蓄、製粉業

営業狀態　昭和三年末貸出額　哈大洋　三〇、〇〇〇元

當座預金利率　月六厘

定　期　同　月一分

貸出利率　月二分四厘

第四節　敦　化

永衡官銀號敦化分號

所在地　敦化縣城南門裡

本店所在地　吉林

設立　昭和三年十一月二十日

營業狀態　林業監督、汚損官帖の交換、税金取立等にして銀行業務は行はず

第五節　双　城　堡

一（支　店）

（一）永衡官銀號双城堡分號

所在地　双城堡

本店所在地　吉　林
設　立　昭和三年
役　員
　経　理　張潤秋
營業狀態　少額の貸出あるのみにして預金なし。貸出利率月一分乃至一分二厘

(二)　東三省官銀號双城堡出張所
所在地　双城堡
本號所在地　遼寧
設　立　大正十四年
役　員
　経　理　賀有年
營業狀態　貸出預金共に取扱はず、奉票の爲替のみ扱ふ。

(三)　邊業銀行雙城堡出張所
所在地　雙城堡
本店所在地　遼寧

設　　立　昭和元年

役　　員

　　經　　理　　張光潤

營業狀態　糧穀雜貨等の商人に對し貸出しを行ふ。金額は極めて少額にして利率は月一分乃至一分三厘、預金は取扱はず。

二（儲蓄會）

吉長儲蓄會雙城分會

所　在　地　雙城堡十字街

本會所在地　長春

設　　立　大正十三年

役　　員

　　經　　理　　張興垣

營業狀態　小商人に對し僅少の金融を行ふのみ

第六節　寧　古　塔

（一）永衡官銀號寧古塔分號

所在地　寧古塔

本號所在地　吉林

設立　明治四十二年（宣統元年）

役員

經理　孫錫藩

營業狀態　少額の爲替取組を扱ふのみ。

（二）東三省官銀號寧古塔出張所

所在地　寧古塔

本店所在地　遼寧

設立　大正十二年九月

役員

經理　文祥

營業狀態　貸出及爲替いつれも極めて少額にすぎず

第五章　黑龍江省

當省內に於ける新式銀行は其發達極めて幼稚である。廣信公司はもとより銀行業務をも營むと雖も其以外の附屬營業が主たる業務たるがごとき觀をなしてゐる。其他は殆んど支店にして中國、交通、東三省、邊業等各行號が各地に其營業所をもつてゐる。然し中國交通兩行のみは純然たる銀行業務をなしつゝあるも東三省邊業等の各行號に至りては其名は銀行なるも其實は單に特產物の賣買機關にすぎない。

當省內に於けるものを表示すれば次のごとくである。

地名	本店	支店 本店所在地 省內	支店 本店所在地 滿洲內	支店 本店所在地 滿洲外	支店 合計	儲蓄會 本會	儲蓄會 分會
齊々哈爾	一	—	二	二	四	一	—
海拉爾	—	一	—	—	一	—	—
滿洲里	—	一	—	一	二	—	—
安達	—	一	三	—	四	—	一

呼蘭	丨	一	一	一	三	丨	丨
綏化	一	一	二	一	四	丨	丨
海倫	丨	一	丨	丨	一	一	丨
合計	二	六	八	五	一九	二	一

第一節　齊々哈爾

一（本　店）

黒龍江省廣信公司

所　在　地　齊々哈爾城内廣信公司胡同

設　　　立　明治三十八年（光緒三十一年）八月

支店所在地　呼蘭、海倫、綏化、巴彥、黒河、庫瑪、漠河、安達、湯源、海拉爾、滿洲里、黒竜、克山、吉林、哈爾濱、（以上支店）通河、望奎、拜泉、營口、上海、天津、山海關（以上出張所）

沿　　　革　光緒三十一年官の出資銀二〇〇、〇〇〇兩民間出資銀三一二、三〇〇兩計五一二、三〇〇兩を以て廣

信公司設立せられ、更に光緒三十四年銀三〇〇、〇〇〇兩を以て黑龍江官銀號が設置された。然るに共組織目的等殆んど相同じきため種々幣害生じ兩立を許さざる狀態に至りたるを以て民國八年十二月に至り兩者は合併されて今日に至る。

組織　官民合辦（民間所有株は特殊のものゝ外は官憲に買收せらる）

役員

總辦　丁夢武

總經理　譚符沈

副經理　高心齊、鄭榮九

資本金　銀二、〇〇〇、〇〇〇兩　拂込額一、五〇〇、〇〇〇兩

營業科目　各種貸出預金紙幣發行穀物賣買等

營業狀態　本公司は普通金融機關と同しく預金貸出紙幣發行等を行ふ外穀物の賣買電燈製粉油坊金礦燒鍋等あらゆる有利事業を營み北滿に於て經濟上獨步の地位を占めてゐる。

昭和三年末貸出總額　哈大洋　三四、六〇〇、〇〇〇元

同　直營事業出資額　同　一九、五六〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　一、六五〇、〇〇〇元

昭和三年末紙幣發行額哈大洋　三、〇〇〇、〇〇〇元

同　江大洋　一、〇〇〇、〇〇〇元

同　江帖　一〇〇億吊

二（支　店）

（一）東三省官銀號齊々哈爾分號

所在地　齊々哈爾同興源胡同

本店所在地　遼寧

設立　大正三年

役員

經理　張子良

營業科目　預金、貸出、爲替

營業狀態　昭和四年四月末貸出總額　現大洋　一〇〇、〇〇〇元

同　預金　ナシ

北平天津上海營口遼寧等向爲替一箇年取扱高　現大洋一、六〇〇、〇〇〇元

預金利率　月三厘乃至六厘

貸出利率　月一分五厘乃至一分六厘

（二）邊業銀行齊々哈爾支店

所在地　齊々哈爾南大街

本店所在地　遼寧

設立　昭和三年十一月

役員

經理　耿亮甫

營業科目　預金、貸出、爲替、紙幣發行

營業狀態　昭和四年五月末貸出總額　哈大洋　三五〇、〇〇〇元

同　預金ナシ

同　紙幣發行高　哈大洋　八〇〇、〇〇〇元

預金利率　月三厘乃至六厘

貸出利率　月一分四厘

（三）中國銀行齊々哈爾支店

所在地　齊々哈爾十二道街

本店所在地　上海

支店所在地（黒龍江省内に於ける支店）省城、黒河、綏化、海倫、呼蘭（哈爾濱支店出張所）

設　立　大正三年六月

役　員

経　理　郭仙洲

營業科目　爲替、預金、貸出、各種割引、國庫金取扱、紙幣發行

營業狀態　昭和四年四月末預金總額　哈大洋　五〇〇、〇〇〇元

同　　貸出總額　同　七〇〇、〇〇〇元

同　　紙幣發行高　同　二〇〇、〇〇〇元

預金利率　月三厘乃至四厘

貸出利率　月一分四厘

（四）交通銀行齊々哈爾支店

所在地　齊々哈爾南大街

本店所在地　上海

設　立　大正四年四月

役員　經理　汪敏蓀

營業科目　預金、貸出、爲替、地金銀の賣買

營業狀態　昭和四年四月末貸出總額　現大洋　三五〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　八〇、〇〇〇元

紙幣發行高(哈爾濱に於て「齊々哈爾」の刻印を押して發行し齊々哈爾に流通するもの)

哈大洋　二〇〇、〇〇〇元

預金利率　月四厘乃至八厘

貸出利率　月一分四厘

三（儲蓄會）

黑龍江省儲蓄會

所在地　齊々哈爾城內

設立　大正十年五月

役員　經理　馬子郁

資本金　哈大洋三、〇〇〇、〇〇〇元

營業科目　貸出、預金、及油坊糧業質業

四（錢舖）

（一）寶豐玉銀號

所在地　齊々哈爾南大街

設立　明治四十年（光緒三十三年）

役員

經理　玉彭齡

副經理　楊桂林

資本金　哈大洋一〇〇、〇〇〇元

營業科目　預金、貸出

營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　三〇〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　四〇〇、〇〇〇元

同　純利益　同　四五、〇〇〇元

預金利率（三ヶ月）　月一分二厘

貸出利率　月三分

（二）中大銀號

所在地　齊々哈爾南大街

設立　大正十三年

役員

經理　傅友森

資本金　哈大洋　三〇〇、〇〇〇元

營業科目　預金、貸出、爲替、穀物賣買

營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　六〇〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　三〇〇、〇〇〇元（主として官吏）

同　純利益　同　二二〇、〇〇〇元

預金利率　月七厘乃至一分五厘

貸出利率　月一分七厘

（三）益發合齊々哈爾支店

所在地　齊々哈爾南大街

本店所在地　長春

役　　員

　　經　　理　　於志清

　　副 經 理　　李書清

營業科目　貸出、預金、爲替及特産物賣買

營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　二〇〇、〇〇〇元

　　同　　純利益　同　　三〇、〇〇〇元

（四）東北實業公司齊々哈爾支店

所 在 地　齊々哈爾南大街

本店所在地　哈爾濱

設　　立　昭和三年四月

役　　員

　　經　　理　　郭應侯

營業科目　貸出、預金

營業狀態　昭和二年末貸出總額　哈大洋　一〇〇、〇〇〇元

昭和二年末預金總額　哈大洋　一五〇、〇〇〇元

同　純利益　同　三〇、〇〇〇元

預金利率　月八厘乃至一分

貸出利率　月二分六厘

第二節　海拉爾

廣信公司海拉爾支店

所在地　海拉爾城內

本店所在地　齊々哈爾

設立　大正七年六月

役員

經理　王彩臣

營業狀態　貸付を行はす直接糧穀の賣買をなす。又政治上の特殊政策のため蒙古人をして强制的に其所有牛馬を賣却せしめ之を預金せしむ。無利子。其金額は不明。

（備　考）

中國銀行支店は民國十七年始め引上

東三省官銀號分號は民國十八年二月引上

呼倫貝爾儲蓄會は民國十七年資産全部蕩盡閉鎖

第三節　滿洲里

一（支　店）

（一）　廣信公司滿洲里支店

所　在　地　滿洲里四道街

本店所在地　齊々哈爾

設　　立　大正八年六月

役　　員

經　　理　王釋臣

營業狀態　貸出の外鹽の販賣砂金の買入を行ひ又漁業投資をなす

昭和三年末貸出總額　江大洋　七〇〇、〇〇〇元

（二）中國銀行滿洲里出張所

所在地　滿洲里驛構內

本店所在地　上海

設立　大正六年

役員

經理　齊己山

營業狀態　關稅收入を取扱ふのみ

二（錢鋪）

萬茂盛

所在地　滿洲里四道街

役員

經理　呂鳳鳴

資本金　哈大洋二〇〇、〇〇〇元

營業狀態　貸出、預金の外質屋雜貨屋をも營む

預金利率　月三分

貸出利率　月六分

第四節　安　達　站

一（支　店）

（一）廣信公司安達站支店

所　在　地　安達站東三道街

本店所在地　齊々哈爾

設　　　立　大正七年四月

役　　　員

　　經　　理　常甸生

（二）益發銀行安達站支店

營業狀態　主として穀物の賣買をなす

所　在　地　安達站

本店所在地　長春

設　　　立　大正十年

役　　　員

經　　理　　張仲遠

營業科目　貸金、預金、爲替

營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　三〇〇、〇〇〇元

同　　預金總額　同　　八〇、〇〇〇元

預金利率　月六厘

貸出利率　月二分五厘

（三）邊業銀行安達站支店

所在地　安達站

本店所在地　遼寧

設立　大正十四年

役員

經　　理　　喬玉芝

營業科目　貸出、預金（目下取扱はず）

營業狀態　昭和四年五月末貸出總額　哈大洋　二〇〇、〇〇〇元

貸出利率　月一分五厘乃至二分五厘

（四）東三省官銀號安達站分號

所在地　安達站

本店所在地　遼寧

設立　大正十一年

役員

經理　單錫珍

營業科目　貸出、預金（現在取扱はず）

營業狀態　昭和四年五月末貸出、預金共になし

貸出利率　月一分五厘乃至二分五厘

二（儲蓄會）

黒龍江省儲蓄會安達站分會

所在地　安達站道東三道街

本店所在地　齊々哈爾

設立　大正十四年

役員

經　　理　孫品三
營業狀態　成績不良目下整理中

第五節　呼　　蘭

（支　店）

（一）廣信公司呼蘭支店

所 在 地　呼蘭縣城北大街
本店所在地　齊々哈爾
設　　立　明治四十年（光緒三十三年）九月
役　　員
　經　　理　楊子連
營業狀態　貸出預金爲替等一般銀行業務は扱はずたゞ糧業のみ行ふ

（二）東三省官銀號呼蘭分號

所 在 地　呼蘭縣城南大街
本店所在地　遼寧
設　　立　大正十一年

役　員
　　經　理　呉孟傑
營業狀態　一般銀行業務は行はずたゞ糧穀買付のみ行ふ

(三)　中國銀行呼蘭出張所

所在地　呼蘭縣城南大街
本店所在地　上海
設　立　大正四年
役　員
　　經　理　魏恩榮
營業科目　貸出、預金、爲替
營業狀態　昭和四年五月末貸出總額　哈大洋　一五〇、〇〇〇元
　　預金目下取扱はず
　　爲替一ヶ年取扱高　哈大洋　七〇〇、〇〇〇元
　　貸出利率　月一分五厘

第六節　綏　化

一（本　店）

農業銀行

所在地　綏化南二道街

設立　大正十三年

役員　經理　杜天錫

資本金　哈大洋　一二〇、〇〇〇元

營業科目　預金、貸出、交易所信託金庫取扱

營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　四〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　二〇〇、〇〇〇元

預金利率　月五厘

貸出利率　月一分六厘

二（支　店）

（一）廣信公司綏化支店
所在地　綏化東大街
本店所在地　齊々哈爾
設立　明治三十八年（光緒三十一年）十一月
役員
　經理　梁海賓
營業狀態　貸出預金扱はずたゞ糧業のみ

（二）東三官銀號綏化分號
所在地　綏化西大街
本店所在地　遼寧
設立　大正四年
役員
　經理　史益亭
營業狀態　貸出、爲替糧穀買付を取扱ふ。預金は扱はず
　昭和三年末貸出總額　哈大洋　四〇〇、〇〇〇元

貸出利率　月一分六厘

（三）邊業銀行綏化支店

所在地　綏化西大街

本店所在地　遼寧

設立　昭和元年

役員

經理　楊鼎勳

營業狀態　貸出のみを行ふ。昭和三年末貸出總額　哈大洋　九〇〇、〇〇〇元

貸出利率　月一分六厘

（四）中國銀行綏化支店

所在地　綏化東大街

本店所在地　上海

設立　大正四年

役員

經理　袁介凡

營業科目　貸出、預金、爲替

營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　三〇〇、〇〇〇元

同　預金總額　同　一〇〇、〇〇〇元

爲替一箇年取扱高　同　一、〇〇〇、〇〇〇元

預金利率　月五厘

貸出利率　月一分六厘

第七節　海倫

一（支店）

廣信公司海倫支店

所在地　海倫

本店所在地　齊々哈爾

設立　明治四十一年（光緒三十四年）十二月

役員　經理　盧湛臣

營業狀態　貸付、預金は行はす、爲替取扱も目下停止中
穀物買付が主なる業務にして一箇年の取扱高約　哈大洋　二、七〇〇、〇〇〇元に及ふ

二（儲蓄會）

蘭海儲蓄會

所在地　海倫
設立　大正十四年
役員
經理　盧麟閣
資本金　哈大洋　一〇〇、〇〇〇元　外に土地建物　哈大洋　二〇〇、〇〇〇元
營業狀態　儲蓄の外貸出を行ふ昭和三年末貸出總額　哈大洋　七〇、〇〇〇元
穀物の賣買を行ふ一箇年の取扱高　哈大洋　六〇〇、〇〇〇元に達す
貸出利率　月三分乃至五分

三（錢舖）

（一）滙豐銀號

所在地　海倫

設　立　昭和元年
役　員
　　經　理　丁炳臣
資本金　哈大洋　五〇、〇〇〇元　拂込濟
營業科目　貸出、預金、爲替、兩替
營業狀態　昭和三年末貸出總額　哈大洋　八〇、〇〇〇元
　　同　　預金總額　同　　三〇、〇〇〇元
　　預金利率　月一分八厘乃至二分
　　貸出利率　月三分乃至五分

(二) 公濟貸莊
所在地　海倫
設　立　大正十二年
役　員
　　經　理　李雨亭
資本金　哈大洋　二〇、〇〇〇元

営業狀態　夏期質屋を營み冬期は糧業を行ふ主として粮棧に放資す
　昭和四年五月末貸出總額　哈大洋　三〇、〇〇〇元
　穀物一ケ年取扱高　哈大洋　四〇〇、〇〇〇元
　貸出利率　月三分乃至五分

(三)質物貸莊

所在地　海倫
設立　大正十二年
役員
　經理　王少卿
資本金　哈大洋　二〇、〇〇〇元
營業狀態　貸出、預金、質業粮業を行ふ
　昭和四年五月末貸出總額　哈大洋　二〇、〇〇〇元
　貸出利率月三分乃至五分

昭和五年二月二十五日印刷
昭和五年三月二日發行

定價金八十五錢

發行兼編輯者　南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課
大連市大江町二番地　佐田弘治郎

印刷者　大連市大江町二番地　荒木猪象

印刷所　株式會社日清印刷所

發行所　大連市紀伊町九十一番地　南滿洲鐵道株式會社

取次販賣所　社團法人中日文化協會

満洲に於ける支那銀行の概要